新花巻図書館整備基本計画（案）

資料編

令和 7 年（2025 年）3 月 21 日

花　巻　市

花巻市教育委員会

目　次

1　新花巻図書館整備基本構想･･･　1

2　としょかんワークショップ
「みんなではなそう未来の図書館」開催結果（概要）･･･････････････････　14

3　新花巻図書館整備特別委員会委員長報告････････････････････････････････　41
（令和2年12月）

4　市民団体等からの提言・要望等･･　45
（令和3年12月～）

5　花巻市立図書館来館者アンケート･･････････････････････････････････････　47
（令和3年度～令和6年度）

6　新花巻図書館建設候補地比較調査結果について（概要版）･････････････　49
（令和6年11月）

7　新花巻図書館の建設候補地について････････････････････････････････････　68
（令和7年3月）

１新花巻図書館整備基本構想

平成 29 年 8 月に策定し、新花巻図書館の機能やサービスの基本となる方針を示している

新花巻図書館整備基本構想

平成２９年８月

花　　巻　　市

目次

１　新花巻図書館整備の背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
（１）図書館に関する近年の状況
（２）新花巻図書館整備の必要性
（３）これまでの経過
（４）この基本構想の位置づけ
２　花巻図書館の現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
（１）花巻市立図書館４館の状況
（２）花巻図書館の現状と課題
　①　施設に関すること
　②　蔵書資料に関すること
　③　運営に関すること
　④　サービスに関すること
３　新花巻図書館整備に関する方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
（１）基本方針
（２）新花巻図書館の整備方針
　①　施設に関すること
　　●ユニバーサルデザイン（バリアフリーへの対応）
　　●十分なスペースを確保
　　●先人や郷土資料のスペースを設置
　　●子どもスペースを設置
　　●防災、防犯対策、環境へ配慮
　　●必要な駐車場を確保
　②　蔵書資料に関すること
　　●広い分野の収集
　　●先人や郷土資料を充実
　　●視聴覚資料や電子資料の活用
　③　運営に関すること
　　●利用しやすい開館時間
　　●利用者の視点で
　　●図書館ボランティアと協働
　　●職員体制の充実
　④　サービスに関すること
　　●レファレンスサービス（相談・支援）の充実
　　●中央図書館としての機能
　　●情報発信を強化
　　●新たなシステムへの対応
（３）　建設場所に関する方針
（４）　事業費に関する方針

１　新花巻図書館整備の背景

（１）図書館に関する近年の状況

市民一人ひとりが健康で生きがいを持ち心豊かに暮らしていくために、生涯を通じて学んでいく「生涯学習」の考え方はますます重要になっています。このような中、市民の生涯学習を支援する誰もが利用できる身近な公共施設として図書館の役割も高まっています。

一方で図書館は、社会や地域の課題解決や産業の振興を手助けする情報の拠点としても重要な役割を担っています。近年、国際化や情報化の進展、人口減少や少子高齢化の進行など、社会の急速な変化に伴い様々な課題やニーズが生まれています。多様化、複雑化するこれらの課題とニーズに対応するためには、様々な知識や情報が必要となっており、図書館に求められるサービスも高度化しています。

インターネット等情報化の進展により、家庭でも容易に情報を取得することができるようになりました。しかし、未だ印刷出版物による情報は膨大であり、過去に出版された図書はもとより、歴史的な資料など専門的な分野になるほど紙媒体に頼らざるを得ない状況にあると言えます。電子書籍やインターネットなど急激に拡大する電子化の中にあって、図書館は従来の紙媒体と電子媒体を組み合わせ、いつでも、だれでも、情報が入手できるよう環境を整備していく必要があります。

また、人口減少が大きな課題となっている今日、図書館は人を集めることができる施設として注目されつつあり、商店街や地域活性化、まちづくりのための中核施設としての役割も期待されています。

（２）新花巻図書館整備の必要性

現在の花巻図書館は昭和４８年７月に開館し、これまで４０年以上にわたり市民に図書館サービスを行ってきました。しかし、施設が古く近隣他市の図書館と比べると蔵書や閲覧スペースが狭いことや、主な閲覧室が２階にあるため高齢者や障がい者にとって使いづらい状況にあることなど、様々な改善が求められている状況にあります。また、自動車を利用して訪れる人も増加しましたが、駐車スペースが隣接する文化会館や振興センターと共用のため手狭になっています。

生涯学習の拠点施設として、図書館の役割がますます重要視されるようになってきた今日、知識の向上や心の豊かさを求める市民のニーズに的確に対応できる機能を備えた新しい花巻図書館の整備が求められています。

また、近年の人口減少により市街地の停滞が大きな課題となっています。市街地再生を図るための核としても新しい図書館の整備が必要になっています。

（３）これまでの経過

花巻図書館については、これまでも整備が検討されてきました。平成２３年１２月には、公共的団体や図書館関係者、市民公募委員による「花巻図書館整備市民懇話会」が設置され、のべ９回にわたる会議を経て、平成２４年１０月２５日には「知の泉　豊かな時間（とき）出会いの広場」をキャッチフレーズとする「花巻図書館への提言」が提出されました。

この提言を踏まえ、平成２４年１２月には図書館整備に関する基本計画案の策定作業を開始し、平成２５年５月２８日は「花巻中央図書館基本計画」を定め、同時に子どもに関する総合施設「こどもの城」との複合施設とすることで、議会をはじめ関係者に説明をしてきました。

しかし、平成２６年３月に、建設予定地（花巻厚生病院跡地）の土壌汚染が県から公表され、図書館とこどもの城の建設を延期せざるを得ない状況となる中、国においては新しい都市再構築のための制度が発表されたことを踏まえ、市街地の一体的な再生を図るべく施設整備を再検討することとなり、結果的に図書館の建設は中断することとなりました。

（４）この基本構想の位置づけ

この基本構想は、平成２４年１０月に花巻図書館整備市民懇話会から提言を受けた「花巻図書館への提言」に基づき、これまでの新しい図書館建設に関する検討経過や市民ニーズを踏まえ、課題を明確にしながら新しい図書館の機能やサービスの基本となる方針を示すものです。

この基本構想は、今後策定を予定している基本計画や基本設計、実施設計などの、図書館整備に関する計画を定めていく上での根幹となる構想で、花巻市まちづくり総合計画や、花巻市教育振興計画、花巻市生涯学習振興計画、花巻市新市建設計画など、関連する市の計画と整合するものです。

２　花巻図書館の現状と課題

（１）花巻市立図書館４館の状況

花巻市立図書館は、平成１８年１月に花巻市、大迫町、石鳥谷町、東和町が合併し、新しい「花巻市」が誕生したことにより、旧４市町それぞれにあった図書館を、花巻市立花巻図書館、大迫図書館、石鳥谷図書館、東和図書館として発足しました。平成１９年４月、条例改正により花巻図書館を本館とし、他の３館を分館と位置づけています。

本館の役割も持つ花巻図書館は、花巻市若葉町の花巻市文化会館と隣接し、昭和４８年に建築したもので、４つの図書館の中で最も古く３階建てで延床面積は約 1,304 ㎡あり主となる閲覧室が２階になっています。大迫図書館は、平成２４年に大迫総合支所内に移転整備したもので、延床面積は約 522 ㎡で総合支所の１階にあります。石鳥谷図書館は国道４号に接する道の駅石鳥谷に隣接し、平成４年建築、延床面積は約 1,371 ㎡あり、閲覧室は１階にあります。東和図書館は国道２８３号沿いの総合福祉センターや和田公園（東和球場）に隣接し、平成１７年建築、延床面積約 1,389 ㎡で平屋建てです。

本市の図書館全体の蔵書数は、約４１万冊で、一人あたりの冊数は４．２冊となっています。

■花巻市立図書館４館の状況（平成２７年度）

	単位	花巻図書館	大迫図書館	石鳥谷図書館	東和図書館	計
建築年	年	昭和 48 年	平成 24 年(支所へ移転)	平成 4 年	平成 17 年	
延べ床面積	㎡	1,304	522	1,371	1,389	4,586
貸出者数	人	5,727	348	1,869	1,389	9,333
蔵書冊数(図書のみ)	冊	180,390	46,658	118,165	68,413	413,626
一人あたり蔵書数	冊	2.61	8.58	8.14	7.68	4.22
年間貸出冊数	冊	225,078	24,421	107,054	59,046	415,599
一人あたり貸出冊数	冊	3.25	4.49	7.38	6.63	4.24
地域の人口	人	69,200	5,436	14,510	8,910	98,056

■近隣市の図書館の状況（平成２７年４月１日）

	単位	花巻市	北上市	奥州市	一関市	盛岡市
蔵書冊数	冊	412,700	303,628	514,024	756,633	635,080
人口	人	97,586	93,322	119,061	120,379	299,137
一人あたりの蔵書数	冊	4.23	3.25	4.32	6.29	2.12

*資料：県立図書館「図書館・公民館図書室等実態調査」

人口は「岩手県人口移動報告年報」平成27年10月1日データ

（２）花巻図書館の現状と課題

①施設に関すること

現在の花巻図書館は、花巻駅から南西方向に約２キロ、花巻市若葉町三丁目１６番２４号に位置し、花巻市文化会館や花西振興センター、ぎんどろ公園に隣接しています。

この場所は、宮沢賢治が教鞭をとった花巻農業高等学校の跡地の一画であり、同校が移転した後、花巻市役所近くにあった旧花巻図書館を移転して昭和４８年７月１日に開館したものです。現図書館周辺は駅西地区区画整理の地域であり、花巻中学校や若葉小学校が近接する良好な住宅地です。

敷地面積は約 3,000 ㎡ですが、文化会館や花西振興センターと一体化した敷地になっています。建物は鉄筋コンクリート造り３階建て、延床面積 1304.03 ㎡となっており、１階には学習室、会議室、新聞閲覧室、事務室、２階には開架閲覧室、こども室、書庫、３階には郷土資料室、新聞室があります。

図書館の前には駐車スペースが２０台分あり、隣接する文化会館の駐車場を含めると約４５０台分の駐車スペースがあります。

■現在の花巻図書館位置図

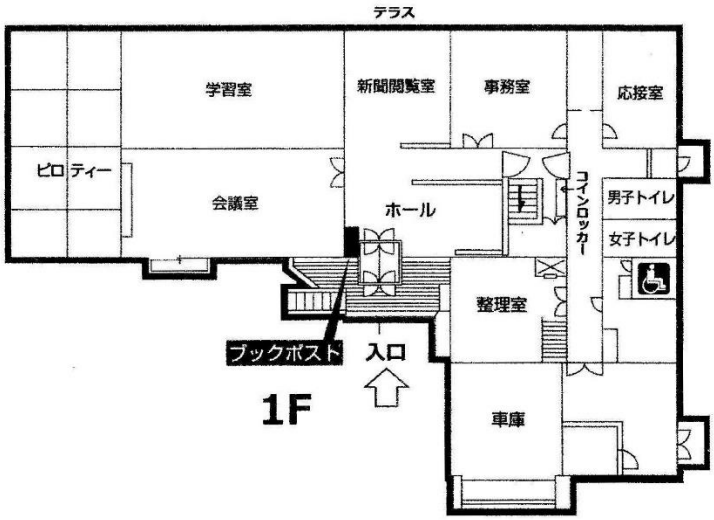
施設の建築から４０年以上が経過しているため施設の老朽化が大きな課題ですが、具体的には主となる閲覧室が２階にありながらエレベーターが無いなど、体が不自由な方が利用しづらい状況にあることや、開架スペースや通路が狭いことや閲覧用の座席が少ないことなど、全体的に狭く使いづらい状況になっています。

駐車場についても、図書館に付属する駐車区域は入り口が狭く建物の北側にあることから冬期間には凍結する場合があり通行に支障があります。周辺の道路も狭いため隣接する文化会館で事業がある場合、渋滞するなどの課題もあります。

■花巻図書館　各階の面積

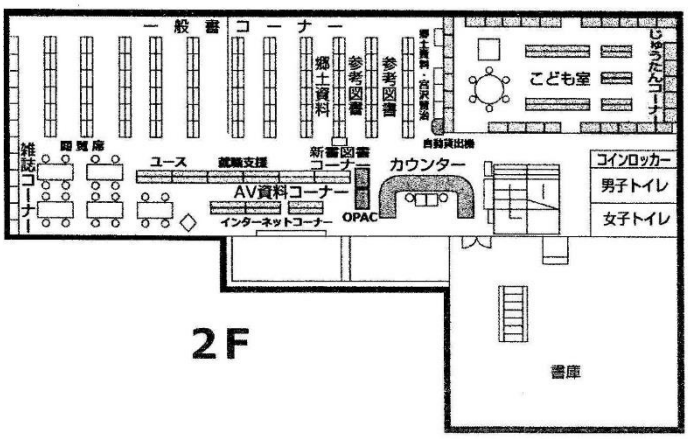
1階　　単位：㎡

学習室	74.88
会議室	74.88
新聞閲覧室	34.45
事務室	40.5
ホール	43.06
整理室	39.61



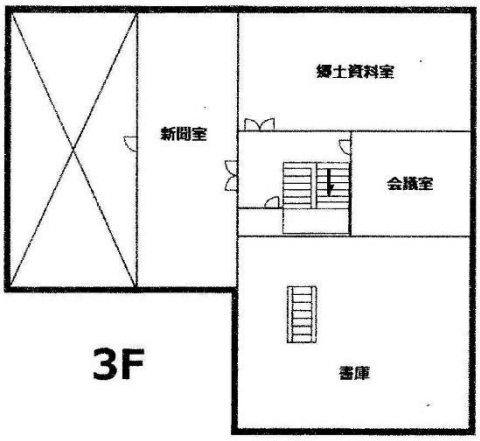
2階

開架閲覧室	218.62
こども室	76.38
カウンター	82.86
書庫	147.56



3階

郷土資料室	76.38
新聞室	69.12



②蔵書資料に関すること

平成２７年度末の花巻図書館の蔵書数は、図書が 180,390 冊、ビデオテープが 1,362 点、ＣＤが 3,652 点、ＤＶＤが 788 点、その他録音テープや雑誌が 4,819 点となっています。これは花巻地域の人口に換算すると一人あたり２．６冊と低く、近傍他市図書館の蔵書数と比較しても少ない状況にあります。施設面積の問題から開架スペースも少ないことから、中高生やビジネス書、専門的書籍が不足しており、ＤＶＤなどの視聴覚資料やこれらの閲覧コーナーも不足しています。郷土資料室が３階にありますが、一般閲覧室と別になっているため閲覧しづらく、資料の検索も難しくなっています。先人や地域に関する資料の不足も指摘されています。

③運営に関すること

休館日は、曜日による定休日は無く、祝日と資料整理日として毎月１日、１２月２８日から翌年１月３日まで、また蔵書整理点検期間（年１回１５日以内）としています。近傍他市図書館が曜日による休館（月曜休館など）を設けている例も多い中、利用者の利便を図っている状況にあります。

開館時間は、午前９時から午後６時と、ほぼ標準的な開館時間ですが、近年では一関図書館のように午後８時まで開館する例もでてきており、利用者のニーズにあわせた運営が必要です。

現在の花巻図書館の職員体制は、館長、副館長兼管理係長、技能主査、業務係長、主任（以上正職員５名）、と非常勤一般職司書が２名、非常勤一般職社会教育指導員１名、臨時補助員３名の合計１１名となっています。そのうち、司書資格者は５名です。近傍他都市の図書館と比較しても人員は不足しており、サービスを向上するためには、職員体制の充実を図る必要があります。

■近隣他市の中心的図書館との比較（平成２７年４月１日データ）

	単位	花巻図書館	北上中央図書館	水沢図書館	一関図書館	盛岡市立図書館
建築年	年	昭和 48 年	平成 5 年	昭和 63 年	平成 26 年	昭和 46 年
延べ床面積	㎡	1,304	2,651	2,543	4,772	1,913
職員数	人	11	21	16	21	27
蔵書冊数	冊	183,067	251,930	263,339	233,042	363,322
本館個人貸出冊数	冊	195,888	317,743	203,613	300,402	350,218

*資料：県立図書館「図書館・公民館図書室等実態調査」

*一関図書館の延床面積は 1 階駐車場除き

④サービスに関すること

蔵書資料は、ＩＣ化により自動貸出機の利用が可能です。また市内各館での共通利用が可能で、パソコン等から蔵書検索や予約もできるようになっています。県内外の図書館等との相互貸借による資料の利用が可能ですが、インターネット等を利用した新しいサービスへの対応、博物館等の施設とも連携した資料のネットワーク化など、更なる情報化への対応が必要です。

利用者の求めに応じて資料や情報のレファレンスサービス（相談・支援）を行っていますが、専門的蔵書資料の不足や職員の不足から、その充実が求められています。

遠隔地への貸出サービスとして、移動図書館車「ぎんが号」を運行しています。

毎月広報で図書の紹介や図書館での催しを掲載していますが、情報発信が弱いとの指摘もあり、情報発信能力を含めてより一層の企画力強化が求められています。

３　新花巻図書館整備の方針

平成２４年１０月に花巻図書館整備市民懇話会から提言を受けた「花巻図書館への提言」に基づき、これまでの新しい図書館建設に関する検討経過や市民ニーズを踏まえ、新花巻図書館整備の方針を次のようにします。

（1）基本方針

本市は、宮沢賢治や萬鉄五郎をはじめとした多くの先人を輩出しています。江戸時代の先人を顕彰した「鶴陰碑」に記された人々は、自らの研鑽に精進し学術文化はもとより地域や産業の振興と発展、そして後継者の育成に努力を重ねてきました。花巻には歴史的に学びの風土があり、この精神は私たちも次の世代に受け継いでいかなければなりません。

新しい花巻図書館の整備にあたっては、市民一人ひとりの生活や活動を支援することを基本的に考えながら、先人が育んできた「学びの精神」を受け継ぎ、図書館が次世代を担う子どもの読書活動を支援し豊かな心を育てる施設として、また情報を地域や産業の創造に結びつける施設として、まちや市民に活力と未来をもたらす図書館を目指して、次の３つを基本方針とします。

◆郷土の歴史と独自性を大切にし、豊かな市民文化を創造する図書館

花巻市は輝かしい功績を遺した数多くの先人を輩出しています。この先人達を顕彰し次の時代を担う子どもたちにその精神を継承し、郷土を愛する心を育むことができるよう、郷土資料や先人の資料の充実を図ります。

◆すべての市民が親しみやすく使いやすい図書館

幼児、子ども、高齢者、障がい者、すべての市民が気軽に利用できるように、親しみやすく使いやすい施設とします。自然や周辺に調和した明るくゆったりしたスペースとし、読書はもちろんのこと、くつろぎの場でもあり、交流の場ともなる施設とします。

◆暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ知の情報拠点としての図書館

これからの図書館は市民の読書や生涯学習を支援するだけでなく、情報を得る場、生活、仕事、教育、産業など各分野の課題解決を図る図書館であることが求められているため、広い分野にわたる資料やレファレンス（検索・相談）機能の充実を図ります。

（２）新花巻図書館の整備方針

①施設に関すること

●ユニバーサルデザイン（バリアフリーへの対応）

子どもから高齢者、障がい者、あらゆる利用者がバリアフリーで動きやすい、機能的、効率的な動線に配慮し、利便性や安全性を重視した施設とします。

●十分なスペースを確保

開架スペースはもちろん、資料はわかりやすく利用しやすく配置し、くつろいで読書や資料調査ができるよう十分なスペースを確保します。また、学習ができるスペースや図書企画を展示できるコーナーなどゆとりのあるスペースを設けます。

●先人や郷土資料のスペースを設置

先人達を顕彰し次の時代を担う子どもたちにその精神を継承するためにも、先人資料と郷土資料の充実を図り、紹介するコーナーを設けます。

●子どもスペースを設置

声を出しても迷惑にならない子ども向けのスペースや、子どもたちが楽しく読書ができ、調べものができるようなスペースを設置します。

●防災、防犯対策、環境へ配慮

災害に対応できる適切な耐震性を確保するとともに、防犯対策にも配慮した施設設備とします。

また、花巻市環境基本計画に基づき、自然エネルギーの活用を検討し照明器具や冷暖房設備等省エネルギーの施設とします。

●必要な駐車スペースを確保

本市は市域も広く自動車の利用者が多いことから、必要な駐車スペースの確保に努めるとともに、車いすや障がい者の利用にも配慮したスペースを確保します。

●施設の併設等の検討

市民のくつろぎと交流の場となるよう飲食スペースの設置など複合的な施設の併設も検討します。

②蔵書資料に関すること

●広い分野の収集

高度化する市民ニーズに対応するため、生活や暮らし、趣味に関わる資料のみならず、専門的な資料や地域の資料など広い分野の資料収集に努めます。

●先人や郷土資料を充実

先人や郷土に関する資料、本市行政資料など、本市に関わる資料の総合的な管理収集保存に努めます。

●視聴覚資料や電子資料の活用

ＤＶＤ等による視聴覚資料のみならずデジタルデータ資料の保存活用、インターネットを活用したデータベースなど新しい電子サービスに対応できる施設を目指します。

③運営に関すること

●利用しやすい開館時間

市民の就労形態やライフスタイルが多様化している中で、多くの市民が利用できるように開館時間を設定するとともに、休館日も同様の視点で検討します。

●利用者の視点

市民ニーズを把握するため、市民の意見を聞く機会を設けるとともに、図書館協議会等において協議しながら利用者の視点に立った運営に努めます。

●図書館ボランティアとの協働

市民の意見を反映しつつ充実したサービスを提供するためにはボランティアとの協働が不可欠です。図書館ボランティアとの協働によるサービス提供に努めます。

●職員体制の充実

司書資格を持つ職員を計画的に配置するなど、職員体制の充実を図ります。また、専門的な知識を深め多様な年代、レファレンスサービス（相談・支援）に対応できるよう研修などにより職員の育成に努めます。

④サービスに関すること

●レファレンスサービス（相談・支援）の充実

利用者の調査研究、課題解決に求められる資料や情報を的確に提供できるようレファレンスサービスの充実に努めます。

●中央図書館としての機能

新花巻図書館は、市内全館の中央図書館としての役割を担う施設として、各館のサービスや事業の調整を図るとともに、学校図書館や全国の図書館との図書館ネットワーク連携の中核を担い、また、市内の博物館や記念館等とも連携を図ります。

●情報発信を強化

利用者の拡大を図るために、若い世代やビジネスマンなどにも利用されるような図書企画に積極的に取組み、広く情報発信に努めます。

●新たなシステムへの対応

インターネット等を使った検索や予約、図書館向けデジタル資料や各種データベースの閲覧など、新たな図書情報システムに対応できるように努めます。

（３）建設場所に関する方針

図書館は、市民をはじめとする利用者にとって、利用しやすい場所にあるべきです。交通アクセスが良くわかりやすく、市全域から行きやすい場所で、十分な駐車場も確保できる場所が望ましいと考えます。

また、図書館は市街地再生に資する施設としてまちづくりや都市計画とも整合したものとする必要があります。本市は、平成２８年６月に市街地の定住化を促進し市街地に都市機能を誘導する「花巻市立地適正化計画」を策定し公表しましたが、新しい図書館はその中で示す「都市機能誘導区域」に整備することとし、場所によっては近隣施設との連携や他施設との複合化など、民間との連携も含めて検討し、候補地を数箇所選定した上で基本計画において場所を定めることとします。

（４）事業費に関する方針

新花巻図書館の建設と必要な機能やサービスを提供するための事業費は、可能な限りコスト削減に努め、花巻市まちづくり総合計画や財政計画を踏まえた整備を進めることとします。

また、建設後の運営費や図書購入費、職員体制に係る経費も十分に考慮して今後計画を進めるものとします。

２としょかんワークショップ「みんなではなそう未来の図書館」開催結果（概要）

令和２年７月～10 月に市が行い、ここで出された意見を基本計画試案の基礎としている

としょかんワークショップ　20 代編・高校生編　第１回　まとめ

■日　時　　2020 年 7 月 25 日（土）　9：00～12：00
■場　所　　まなび学園　3 階　第 2・3 中ホール
■テーマ　　「図書館ってどんな場所？」
■参加者　　20 代 13 名、高校生 19 名
■アドバイザー　富士大学教授　早川　光彦　氏
■当日の内容

図書館整備のこれまで

はじめに、生涯学習課から花巻図書館の現状や、これまでに花巻市が行ってきた図書館整備の内容を説明しました。

現在の花巻図書館は、昭和 48 年に建てられたもので、今年で築 47 年と老朽化が進んでいます。また、閲覧スペースが 2 階にあり、利用しづらいことや蔵書スペースが少ないなどの課題があり、生涯学習施設として、また市街地再生の核として、新しい図書館の整備が求められてきました。

平成 29 年に「新花巻図書館整備基本構想」を策定し、①郷土の歴史と独自性を大切にし、豊かな市民文化を創造する図書館、②すべての市民が親しみやすく使いやすい図書館、③暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ知の情報拠点としての図書館、の 3 つの基本方針を示しました。

今年度「新花巻図書館整備基本計画」を策定するにあたり、ワークショップを開催し、みなさんと一緒に未来の図書館について話し合います。

図書館ってどんな場所？

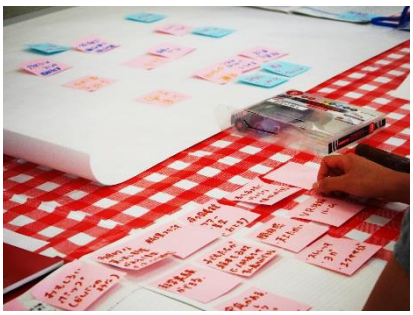
次に、アドバイザーの早川氏より「図書館ってどんな場所？」というテーマで、話題提供をいただきました。

早川氏は宮城県仙台市出身で、川崎村立図書館（現一関市川崎図書館）にて主任司書として設立に関わり、2004 年からは南相馬市立中央図書館の新設に尽力されたのち副館長として活躍されました。2014 年からは富士大学経済学部の教授として教鞭をとりながら、東北地域の公共図書館の新設にも携わっています。

早川氏からは、ご自身が携わってきた公共図書館のエピソードや写真をもとに、人々の生活全般を支援する場としての図書館について、ご紹介いただきました。本の貸し出しだけでなく、人が集まることで情報が集まり、コミュニティが生まれ人と人がつながる、「本のある広場」としての図書館の役割をお話しいただき、これから新しい図書館を考えるうえで大切にしたい観点を共有することができました。

こんな図書館がほしい！

その後「こんな図書館がほしい！」というテーマで 60 分のワークショップを行いました。早川氏からの話題提供を受けて、自分は、そして私たちはどんな図書館がほしいかアイディアを出し合いました。



まずは自分で考えたアイディアを、付せんにどんどん書き込んでいきます。次にグループ内でそれぞれのアイディアを共有し、カテゴライズしていきます。

最後にグループごとにどんな話し合いがされたかを発表しました。新しい図書館に求めるサービスとして、Wi－Fi 環境の整備や iPad の貸し出しなど、若い世代ならではの意見や、「癒しのための小動物がいる図書館」や「足湯のある図書館」など、ユニークなアイディアも生まれました。

最後に、早川氏からの講評では、「今回の話し合いでは、お金をかけずに実現できそうなアイディアがたくさんありました。このワークショップで一番得をしたのは花巻市！これからつくる新しい図書館にはこういうものが大事、ということを若いみなさんが教えてくれました。次回も楽しみにしています」とコメントをいただきました。

次回は 8 月 8 日（土）に 2 回目のワークショップを開催します。今回出たアイディアを基により具体的な、そして「花巻らしい」図書館を考えていきます。

＊場所　なはんプラザ　COMZ ホール

＊時間　9：00～12：00（20 代編）、14：00～17：00（高校生編）

参加者のアンケートから

・図書館は正直に言ってマイナスなイメージだったけど、生活に必要な存在になると思った。
・普段なら会わなかったたくさんの人と図書館について話し合えて楽しかった。
・たくさん要望が出た。すなわちこれまでの図書館は問題が多かったのだと気付いた。
・将来やりたい事がある程度決まっているけど、図書館をつくるしごとを専門でやりたい‼と心変わりしそうなくらいおもしろかった。

としょかんワークショップ　20代編・高校生編　第2回　まとめ

■日　時　　2020年8月8日（土）　9：00～12：15　20代編
　　14：00～17：15　高校生編
■場　所　　なはんプラザ1階　COMZホール
■テーマ　　「花巻にこんな図書館が欲しい！」
■参加者　　20代11名、高校生21名
■アドバイザー　富士大学教授　早川　光彦　氏
■当日の内容

「こんな図書館がほしい！」その2（前半）

7月25日（土）に開催した第1回では早川氏から主に　東北地方の図書館についてご紹介いただき、今図書館がどのように使われているのか、図書館が市民や地域にとってどのような役割を担うことができるのかを学んだあと、自分たちがほしい図書館についてグループごとにアイディアを出し合いました。

第2回は、午前中に20代編、午後に高校生編を同じプログラムで開催しました。

はじめに、前回を振り返りながら、グループでまとめたアイディアを「本・資料」「サービス」「環境・空間」「場所」の4つのカテゴリをベースに再整理を行いました。同時に、今回初めて参加した方からの新しい視点や、それを受けての発展的なアイディアもどんどん追加されていきました。

ある程度分類できた後、テーブルファシリテーター以外は席を移動し、ほかのグループではどのように整理されているか情報を共有しました。

早川氏からのアドバイス

前半終了後、休憩をはさみ早川氏からいくつかアドバイスをいただきました。

・重要なことは、皆さんならではの意見がたくさん出ているか、ということです。正確に分類することは重要ではありません。

・皆さんのアイディアを今一度振り返り、本当に毎日でも行きたい図書館になっているか、人に自慢できる図書館になっているか、考えてみてください。

こんな図書館がほしい！その 2（後半）

アドバイスをもとに自分たちが分類したアイディアを再点検し、「花巻らしさ」という視点も盛り込みながら、カテゴリごとに、自分たちのグループで大切にしたいキーワードを選ぶ作業を行いました。その後、選んだキーワードを文章化したものを、新しい模造紙にまとめ、発表を行いました。

今回はたくさんのアイディアの中から取捨選択をするという難しい取り組みでしたが、相手を否定せず、多様な意見に耳を傾ける対話的な話し合いが行われていました。みなさん頭を悩ませながらも、前回以上に「自分たちがほしい図書館」についての話し合いを楽しんでいるようでした。

早川氏からの講評

最後に、早川氏から次のようにコメントをいただきました。

＜20 代編＞

・今回みなさんが参加してみて、もっと話したいという人もいたのではないでしょうか？前回は制約なく理想の図書館について語り、今回はその理想を形にしていく作業だったと思います。

・「花巻らしさ」については、あまり触れられないのではとの懸念がありましたが、それぞれの班からしっかり提案されていました。

・1 班の「20 代がふらっと行ける図書館」について、これは簡単なことではないですが、とても重要な指摘です。東北地方には 20 代や 30 代（特に男性）が多く出入りする図書館はかなり少ないです。

・2 班の「図書館の存在を知ってもらう」という意見はとても大事ですね。多くの人が「図書館は重要」という認識を持った社会になれば、図書館の資料購入費を増やすことができ、みなさんが必要と考える資料も揃えることができます。
・3 班からは「図書館で大学の論文が全部読めるようにしてほしい」という意見もありました。「花巻の図書館に行けば大学で習得するくらいの知識が手に入ります」と言えるようになれば、それは新しい図書館の大きな魅力となります。
・「絶対行ったほうがいい」と人にお勧めできる図書館にしていきましょう。

＜高校生編＞

・本日参加している図書館の職員には、今回高校生から出たアイディアを持ち帰ってほしいです。今の図書館でも工夫次第で実現できることがたくさんありました。高校生の皆さんがここまで考えている、ということを知れたのではないでしょうか。
・また、みなさんは図書館のことをよく知っていて、普段から利用している、ということが伝わってきました。
・みなさんの力を貸していただかないと図書館はよくならないと痛感しました。それほどみなさんの発表は素晴らしかったです。
・「レベルの高い司書」という指摘がありましたが、「隣のまちにはレベルの高い司書がいるのに花巻にはいないのか？」と言われないようにしたいですね。みなさんが誇りに思える図書館になればいいと思います。
・「書庫に行きやすい」ということは、今の図書館でもすぐにできること。ぜひ実現してほしいです。
・これからもみなさんの声を図書館に届けてください。施設だけ新しくても使いづらい図書館になってしまわないよう、今後も力を貸してください。

参加者のアンケートから

・1 回目より質の高い（色々な意見が出た）ワークショップとなりました。

・非現実的な考えも出し合って夢の図書館を考えることができた。
・自分たちの考えが反映されるようなワークショップだったと思う。色々な考え、視点があってとても勉強になったし、楽しかった！完成した新図書館に行くのが楽しみ☺

今後のとしょかんワークショップについて

20 代編・高校生編はこれで終了となりますが、8 月 23 日（日）からは一般編がスタートします。今回は参加者がリラックスしてアイディアを出し合えるよう、世代を限定したワークショップでしたが、一般編では世代関係なく、今回参加した若者世代も含め、花巻市の新しい図書館について話し合います。

としょかんワークショップ　一般編第１回　まとめ

■日　時　　2020 年 8 月 23 日（日）　9：00～13：00
■場　所　　花巻図書館、東和図書館
■テーマ　　「みんなでとしょかんに行ってみよう！」
■参加者　　21 名
■アドバイザー　　富士大学教授　早川　光彦　氏
■当日の内容

図書館ワークショップについて

はじめに、生涯学習課から図書館整備の必要性やワークショップ開催の趣旨を説明しました。花巻図書館は昭和 48 年に建設され、今年で 47 年が経過し老朽化が進んでいます。また、閲覧スペースが 2 階にありますが、エレベーターがなくバリアフリーに対応していないことや、書庫などのスペースも不足しているなどの課題が多くあります。今年度は基本計画の策定に向けて進んでいきますが、改めて市民の皆さんのご意見を聞くべきと考え、ワークショップの開催に至りました。7 月～8 月には 20 代・高校生を対象に新しい図書館について話し合いをしてもらいました。今回は一般編というとこで、世代を限定せず多様な皆さまにお集まりいただき、新しい図書館についてご意見やアイディアをいただきながら、新しい図書館の具体化を図ります。

図書館見学

まずは図書館の現状を見て知ってもらうため、花巻図書館と東和図書館を見学しました。

＜花巻図書館について＞

●1 階会議室
・映画会やおはなし会などを月に 3～4 回開催。

●入口～1 階全般
・感染症対策のため、入口に体温測定器を設置。
・学習室と新聞室は感染症対策のため座席を減らし、現在は有事に連絡が取れるよう、名前と電話番号を記入していただいている。
・バリアフリーコーナーとして受付を設置。エレベーターがないため、インターホンを設置し、職員を呼び出せるようになっている。

●階段昇降機
・階段の上り下りが困難な方のために昇降機を設置。安全性には問題がないものの、初めて利

用する方は恐いと感じる方もいる。

●資料室（視聴覚ライブラリー資料保管室）

・視聴覚ライブラリーは団体向けに全部で 1,175 本の DVD やビデオなどの資料を貸し出している。

・官報など行政資料も置いている。

●郷土資料室

・宮沢賢治や高村光太郎などに関する資料や歴史書や郷土史など約 12,500 冊保存。

・1 冊しかない資料は館内での閲覧とし、2 冊以上ある資料は貸出可能としている。

・賢治記念館等に観光でいらっしゃった方が立ち寄って利用することも多々ある。

●新聞資料室

・新聞 12 紙を保管している。

・新聞閲覧室は換気が悪いため、現在は 2 階の閲覧コーナーで閲覧してもらっている。

・スペースが狭いため、今後新聞の保管方法について検討する必要がある。

●こども室

・絵本を中心に、18,000 冊が並ぶ。

・カーペットのスペースがあるので、常時だと親子で座って読み聞かせをしている様子が見られる。

・感染症対策で利用者が自由に使える除菌ボックスを新たに設置。（普段から返却された本は除菌剤を使用して拭いてから棚に戻しているが、気になる方は除菌ボックスを使用できる。）

●図書閲覧スペース

・配架は日本十進分類法に則って分類している。

・書棚が足りなくなっている部分は簡易的な書架で補っている。

●閉架書庫

・約 50,000 冊を保管。

・学校やボランティア団体に貸す本もここに保管している。

・書庫 1 階はカウンターに声をかけて中に入ることができる。

＜東和図書館について＞

●全体について

・平成 17 年 12 月に開館し、平成 18 年 1 月に合併したため、1 か月間だけ旧東和町の図書館として開館。

・東和町の目指す図書館像として「開かれた滞在型図書館」「町の情報拠点」「町の顔をもった図書館」をイメージして建てられた。

・喫茶を含んだ複合施設。全体で 1,389 ㎡。

・書架も木製で、全体的に木の温もりを感じられる落ち着いた雰囲気になっている。
・天井が高く、書架と書架の間も人が両側に立っても車いすが通れる広さを取っており、書架の高さも低いので広さを感じられるつくり。
・配架は日本十進分類法を基本とし、子どもの様子を見ながら料理の本を選んだりしやすいよう、料理の本や子育ての本を児童コーナー側に配置している。

●児童コーナー
・全体の約 3 分の 1 を児童コーナーに充てており、子育て世代から好評。

●ヤングアダルトコーナー
・その世代それぞれの興味や能力に合わせて資料を選べるよう、児童と一般の間に設置。

●新着・企画コーナー
・文化施設連携として東和にある萬鉄五郎記念美術館の企画展等に合わせ、関連資料の展示貸し出しを行っている。
・閉架書庫は開放できないつくりになっているため、閉架書庫にある資料を表に出して紹介し展示貸し出しをしている。

●管理棟（元情報センター側）
・ギャラリースペース
展示スペースとして、一般の方に月単位で貸出を行っている。
・談話室
コロナ対策で利用不可としているが、夏休み期間限定で学生の学習室としている。普段は飲食可能で誰でも利用できる。
・視聴覚室兼会議室
約 100 人収容可能で大型のスクリーンを備え映画会や会合などで利用しているが、現在はコロナ対策で図書館事業のみの利用としている。
・喫茶
一般の方に喫茶店として貸し出して運営いただいている。

基調講演

図書館見学後、アドバイザーの早川氏より「図書館ってどんな場所？」というテーマで話題提供をいただきました。早川氏は川崎村立図書館（現一関市川崎図書館）にて主任司書として設立に関わり、2004 年からは南相馬市立中央図書館の新設に尽力されたのち副館長として活躍されました。2014 年からは富士大学経済学部の教授として教鞭をとりながら、東北地域の公共図書館の新設にも携わっています。

早川氏には、図書館法や国内外の図書館の事例を紹介いただき、公共図書館がどのような役割を

担っているのか、本の貸し出しにとどまらない様々な機能を学びました。本のある広場として、刺激的で楽しい場所として、一人ひとりが持つ可能性を引き出す場所として…今、図書館がどう使われているのか話題提供をしていただいたことで、これから新しい図書館を考えるためのヒントを共有することができました。

＊早川氏の講演メモは最後に掲載しています。5 ページ以降をご覧ください。

参加者のアンケートから

●図書館見学について

・花巻図書館のバリアフリー化はやはり必須だと感じました。

・花巻、東和、各図書館の違いが良く分かった。設立のコンセプトが違うことから、単純に比べることはできないが、2 館の様子から具体的に図書館の姿を想像することができた。

・花巻の図書館、2F の蔵書コーナーに「岩手の温泉　おすすめの宿　平成 17 年版」があった。これでは図書館が面白くない。古いのは建物だけにしてほしい。

●基調講演について

・図書館の既存のイメージと、これから利用したい図書館のイメージをつなぐ貴重なお話でした。花巻市民としてほしい図書館、利用しやすさのイメージが広がりました。

・ワクワクするような図書館の紹介があり、今後のワークショップが楽しみです。

・早川先生の講義は、これから「こんな図書館がほしい」と大きな声で言ってもいいんだと勇気づけられました。

次回の内容

日　時　令和 2 年 9 月 13 日（日）　9：00～12：15

場　所　なはんプラザ　COMZ ホール

テーマ　『みんなでおさらい基本構想』

図書館整備の経緯をおさらいし、ワールドカフェ形式で図書館で「やってみたい」ことや「やれる」こと「求められている」ことなどを話し合います。

講演メモ

＜はじめに＞

・図書館をつくることは、花巻でも 50 年に一度あるかないかの一大プロジェクト。「経験したことがない」「わからない」は当たり前。今日お集まりの皆さん、図書館に関心のある方、そして市役所が一緒に学び合って理想の図書館を目指していくことが重要。

・これまでの日本の図書館のイメージは、暗い、役所くさい、センスが悪い、使いづらい、生活に必要でない、一部の本好きが行く場所…などなど。1990 年代以降から新しい印象の図書館ができ始めた。

・図書館が成り立つ要素＝人（スタッフ）、資料、建物＋利用者。図書館は誰でも使える場所。

・印象的な職員の言葉（旧川崎村立図書館）

「情報の過疎地からの脱却がありえなければ人口の過疎からの脱却はありえない」

「人と人が集まるところに知識と情報が集まって、知識と情報が集まるところに、人が集まる」

＜図書館法から考える目指すべき姿＞

・図書館法第二条「一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で（以下略）」→図書館は自分の「楽しい」「おもしろい」という感覚を掘り下げていくと、自然な形で知的な場所に連れて行ってくれる場所。

・図書館法第三条「図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望にそい、更に学校教育を援助し得るように留意し（以下略）」→花巻の土地の事情（例えば年齢構成や産業構造など）を考慮して、花巻の人が読みたい本、必要な情報がそろった図書館をつくる。

・図書館法第十条「公立図書館の設置に関する事項は、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない」→図書館は自治に立脚している。

＜図書館ってどんな場所？―写真で見る公共図書館の姿―＞

●南相馬市立図書

▲図書館の広場でアートサーカス

▲テラス読書席で勉強

▲将棋をする子どもたち

▲新しい CD・DVD のコーナー

▲観光パンフレット

▲1 階の開架フロア

・図書館は「本のある広場」とも言われる。
・図書館を考える際は、可能性を限定しないで考えることが重要。
・としょかんの TOMO みなみそうま（図書館について学びあい、協力的活動を行う団体）は 200 人以上の会員で組織されている。要望を市へ伝えたり、図書館にお花を活けてくれたり様々な活動を行っている。
・南相馬は紙の資料とデジタル資料のハイブリットを目指している。
・本だけでなく、ぬいぐるみや絵も貸出。
・本を読む以外にも将棋をしたり、ゲームをしたり、おしゃべりをしたり、勉強をしたりと様々な使い方をされている。
・ティーンズコーナーには一言カードの掲示板があり、カードに書かれた質問に対して、必ず支所が答えるという仕組みで、若者と司書のコミュニケーションツールとなっている。
・カフェは福祉団体に運営を呼びかけ、ハンディをもつ人が働いている。
・旅と地図のコーナーでは、全国の観光パンフレットと海外 20 ヵ国の観光パンフレットがそろっている。

●一関市立川崎図書館（旧川崎村立図書館）

▲外観

▲絵本コーナー

▲ぬいぐるみも借りられる

・一関は本の貸出冊数に制限がない。
・子どものサービスにとても力を入れている。
・東和図書館と同じくらいの広さ。

●紫波町図書館

・スタッフが鍛えられているので、子どもへの対応も徹底している。

・評価され、期待されている図書館には必ず理由がある。逆に住民に相手にされていない図書館にも理由がある。

・たくさんの人に使われる図書館は、様々な年代の方が万遍なく訪れる。0 歳児から高齢の方まで。その方達がそれぞれの目的を達成できるか、自分のお気に入りの場所を見つけられるかが大事。

●一関市立花泉図書館

▲お酒の企画展示

▲楽しそうな利用者と職員

・地元のお酒について展示がされており、本と一緒に酒瓶も飾るなど工夫されている。この図書館、何かあるな、おもしろそうと思わせることが大事。

・図書館は成長する有機体。住民の要求と社会的要求両方をとらえているか。社会の変化に敏感に反応しているか。

・利用者が楽しいと職員も楽しい。

●白河市立図書館

▲2011 年 7 月オープン

▲新聞・雑誌・児童コーナー

▲ヴァーチャルリアリティー本棚

・近くに行くことがあれば、必見の図書館。司書の教育がしっかりとされておりプロフェッショナルな仕事がみられる。

・新刊の棚も様々な情報を基に選び抜かれている。

・大学図書館並みの資料ぞろえ。

・特にコミックには力を入れている。

●大崎市立図書館

▲日本最大級のティーンズコーナー

▲図書館という日常

・2 階は全てティーンズコーナー。

・中高生と一緒につくっている本棚がある。

・図書館は日常。

・図書館が家族同士の絆も強める。

としょかんワークショップ　一般編　第３回　まとめ

■日　時　　2020 年 9 月 27 日（日）　9：00～12：05
■場　所　　花巻市交流会館　交流スペース
■テーマ　　「話そうみんなで夢のとしょかん」
■参加者　　31 名（今回より 20 代、高校生が新しく 10 名参加）
■アドバイザー　　富士大学教授　早川　光彦　氏
■当日の内容

グループワークその１　アイディアの分類

今回から、としょかんワークショップ 20 代編・高校生編に参加されていたメンバーや、新しく参加される方々も新たに迎え、新花巻図書館の重点を導き出すワークを行いました。

前半のグループワークでは、はじめに班のメンバー同士で自己紹介を行った後、これまでのワークショップ（20 代編・高校生編を含む）で出された意見から特に大切にしたいアイディアを選びました。またこれまで出されたもののほかに、新しいアイディアもどんどん追加されました。その後、班のメンバーがどんなアイディアを選んだのか共有しながら、大きな 3 つのカテゴリ「本・資料・情報」「運営・サービス」「建物・環境・施設・家具」に分類していきました。

ワンポイントアドバイス

・非常にいい雰囲気でたくさん意見が出ていて理想的な形で進んでいると思います。
・ミヒャエル・エンデの『はてしない物語』で、大人が夢を語らなくなってから物語の世界に闇が広がったという描写があります。今日のワークショップを見ていてそのエピソードが思い出されました。お薦めなのでぜひ読んでみてください。
・「図書館は民主主義の学校」と言われますが、今やっていることが正にそのもので、この様子はぜひいろんな方に見てもらいたいと思います。

グループワークその２　重点を導く

後半のワークでは、新しい図書館の重点を導き出す話し合いを行いました。まずは前半で分類したアイディアの中から、重点を一人ひとり考えました。次に個々に考えた内容を班ごとに共有し話し合うことで、それぞれが考えた重点を組み合わせたり発展させたりして、理想の図書館を実現するために必要となるのはどんなことか班全体で考えました。最終的に模造紙にカテゴリごとの重点を書き出し、全体で発表を行いました。

※各テーブルで出た意見やアイディアは、別紙「WS まとめ」をご覧ください。

講評

最後にアドバイザーの早川氏より全体の講評をいただきました。

・今日、印象に残った言葉がいくつもありました。「未来に出会える場所」「いろいろなチャレンジができる場」そして「行動に移せる場」など。図書館は可能性を提供する機関と言われますが、今回

のワークショップでそういう部分がかなり出てきています。

・南相馬で酸素ボンベが欠かせない障がいを持った女の子との出会いがありました。その子は図書館が本当に大好きで、何か図書館でできる作業がないかと相談に来ました。その子は言葉を話せませんが、聞いて理解することはできるので返却された CD・DVD の清掃などをやってもらっていました。残念ながらその子は亡くなりましたが、今でもその子の笑顔ばかり覚えています。間違いなくその子にとって図書館は居場所の一つであったのだと思います。花巻図書館も全ての人の居場所の一つとして選ばれる場所に必ずなるだろうと感じました。

参加者のアンケートから

・自分の考えや意見だけでなく、グループメンバーの考えや意見を聞くことができ、全員の意見をまとめることができたのがよかったです。全員が図書館について真剣に考えているのが良いと思いました。

・テーマごとの分類作業で、前回の意見を深く考えることが出来ました。グループ内に高校生も加わり、新鮮でした。

・それぞれゆずれないものが違っていて難しかったけど、それが面白さだと感じました。「こんな図書館にしたい！」という夢がたくさん語れてわくわくしました。

・どのグループでもよく考えられていると感じたし、ニッチな意見も大切にこれらの意見をぜひくみ取って、新花巻図書館の設立へ役立てて欲しいです

次回の内容

日　時　令和 2 年 10 月 11 日（日）　9：00～12：00
場　所　花巻市交流会館　交流スペース
テーマ　『つくってみよう みんなのとしょかん①』
　　理想や夢からサービスやソフト面をブラッシュアップしていきます。

としょかんワークショップ　一般編　第４回　まとめ

■日　時　　2020 年 10 月 11 日（日）　9：00～12：25
■場　所　　花巻市交流会館　交流スペース
■テーマ　　「つくってみよう みんなのとしょかん①」
■参加者　　33 名
■アドバイザー　　富士大学教授　早川　光彦　氏

■当日の内容

グループワーク 前半

前回までの話し合いで導き出した「重点」を基に、新しい図書館に必要なサービス計画やサービスの内容について考え、文章化するところから始めました。一人で考えたあと、それぞれが文章化した内容を班ごとに共有しながら、アイディア同士をつなげたり、追加したりしながら班としてどんなサービス内容を挙げるのか、さらに話し合いを深めました。班のメンバーは基本的に前回と同じだったため、徐々にチームワークが発揮され、とても良い雰囲気で話し合いが進みました。

次に、話し合ったサービスが基本構想のどの項目に当てはまるのか確認しました。どの項目にも当てはまらない場合は、自分たちで新しい項目を考え、追加していきました。

ワンポイントアドバイス

前半終了後、アドバイザーの早川氏よりワンポイントアドバイスをいただきました。

・考え方の参考として、例えば「防音の個室が必要だ」というアイディアがある場合、次のように考

えることができます。「個人の価値を尊重した図書館を目指します。そのために 20 ㎡の防音の個室を 10 部屋設けます。」

・これから具体的なサービス計画を作っていく段階に入ります。今は市が最新の声を皆さんからお聞きしていることになります。

・「不易流行」という言葉があります。これから先も変わらないもの、そしてこれから先求められるもの。図書館は成長する有機体と言われますが、皆さんからの声が反映された建物が実現されていけば、建てた後もソフト面での事業展開が可能になると思います。

・みなさんから「チャレンジショップ」という案が出ていますが、可能性を提供できる図書館というのはとても素敵だなと思います。

グループワーク 後半

後半は前半に引き続き、サービスの内容を確認しながらアイディアを広げたり、追加したりしました。次回はこれまで考えてきた図書館のサービスや機能を発揮できる場所はどこか、どんな施設であればいいのかなどを話し合うため、今回が図書館サービスについて検討する重要な回となります。理想的なサービスを「見える化」するために、時間をかけてワークを行いました。最後に、各班で考えた内容を全体に向けて発表しました。どの班もこれまで考えてきた理想の図書館を実現させたい！という、熱がこもった発表となりました。

※各テーブルで出た意見やアイディアは、別紙「WS まとめ」をご覧ください。

講評

最後に早川氏より全体の講評をいただきました。

・皆さんが話し合っていただいたアイディアや意見は、今後 10 年間の図書館の方向性を示していると思います。

・ただし、それらを具現化していくため、職員に相当の力量が求められることは間違いありません。皆さんから意見も出ていましたが、館長の公募は必要と考えます。

・市には、ワークショップに参加されている皆さん自体が財産だという視点を持っていただきたい

です。「新しい図書館ができる」という機運を盛り上げていくために、ここに参加してくださっている方には新しい図書館の応援団となってもらって、今の時点からそういう活動を起こしていく必要があると感じます。

・ここで出た皆さんの考えを形にしていく段階に入ってきています。市にはぜひとも皆さんから出ている期待や願いに応えてほしいと思います。難しくなったら、ここにいる皆さんの力を借りればいいんです。皆さんと一緒に機運を盛り上げていければと楽しみにしています。

参加者のアンケートから

・私の班は、皆さんの雰囲気もとても良く、理想的な空気感で議論できました。きれいな言葉にしようとすると言いたい、含めたいことを書けなかったりするものですが、今まで議論してきたことをより具体化する時間は必ず必要だと思うので、今日の時間はとても有益だったと思います。

・「新しい発想」にもう少し重点を置けばいいのではないかと思いました。他の地域では出ないような、花巻市民ならではの発想がもっと出れば、ワークショップ自体の質も上がったと思います。

・前回の意見より具体的にということでしたが、言葉の表現を変えることで、また見えてくる部分がより深く感じることが出来ました。

・発言を否定されないというところが、話しやすく『自分の図書館づくりに関われている』という感じがとても良いと思いました。

次回（最終回）の内容

日　時　令和 2 年 10 月 25 日（日）　9：00～12：00

場　所　花巻市交流会館　交流スペース

テーマ　『つくってみよう みんなのとしょかん②』

これまで考えてきた図書館のサービス・機能を発揮できる場所や施設について考えます。

としょかんワークショップ　一般編　第４回　まとめ

■日　時　　2020 年 10 月 11 日（日）　9：00～12：25
■場　所　　花巻市交流会館　交流スペース
■テーマ　　「つくってみよう みんなのとしょかん①」
■参加者　　33 名
■アドバイザー　　富士大学教授　早川　光彦　氏

■当日の内容

グループワーク 前半

前回までの話し合いで導き出した「重点」を基に、新しい図書館に必要なサービス計画やサービスの内容について考え、文章化するところから始めました。一人で考えたあと、それぞれが文章化した内容を班ごとに共有しながら、アイディア同士をつなげたり、追加したりしながら班としてどんなサービス内容を挙げるのか、さらに話し合いを深めました。班のメンバーは基本的に前回と同じだったため、徐々にチームワークが発揮され、とても良い雰囲気で話し合いが進みました。

次に、話し合ったサービスが基本構想のどの項目に当てはまるのか確認しました。どの項目にも当てはまらない場合は、自分たちで新しい項目を考え、追加していきました。

ワンポイントアドバイス

前半終了後、アドバイザーの早川氏よりワンポイントアドバイスをいただきました。

・考え方の参考として、例えば「防音の個室が必要だ」というアイディアがある場合、次のように考

えることができます。「個人の価値を尊重した図書館を目指します。そのために 20 ㎡の防音の個室を 10 部屋設けます。」

・これから具体的なサービス計画を作っていく段階に入ります。今は市が最新の声を皆さんからお聞きしていることになります。

・「不易流行」という言葉があります。これから先も変わらないもの、そしてこれから先求められるもの。図書館は成長する有機体と言われますが、皆さんからの声が反映された建物が実現されていけば、建てた後もソフト面での事業展開が可能になると思います。

・みなさんから「チャレンジショップ」という案が出ていますが、可能性を提供できる図書館というのはとても素敵だなと思います。

グループワーク 後半

後半は前半に引き続き、サービスの内容を確認しながらアイディアを広げたり、追加したりしました。次回はこれまで考えてきた図書館のサービスや機能を発揮できる場所はどこか、どんな施設であればいいのかなどを話し合うため、今回が図書館サービスについて検討する重要な回となります。理想的なサービスを「見える化」するために、時間をかけてワークを行いました。最後に、各班で考えた内容を全体に向けて発表しました。どの班もこれまで考えてきた理想の図書館を実現させたい！という、熱がこもった発表となりました。

※各テーブルで出た意見やアイディアは、別紙「WS まとめ」をご覧ください。

講評

最後に早川氏より全体の講評をいただきました。

・皆さんが話し合っていただいたアイディアや意見は、今後 10 年間の図書館の方向性を示していると思います。

・ただし、それらを具現化していくため、職員に相当の力量が求められることは間違いありません。皆さんから意見も出ていましたが、館長の公募は必要と考えます。

・市には、ワークショップに参加されている皆さん自体が財産だという視点を持っていただきたい

です。「新しい図書館ができる」という機運を盛り上げていくために、ここに参加してくださっている方には新しい図書館の応援団となってもらって、今の時点からそういう活動を起こしていく必要があると感じます。

・ここで出た皆さんの考えを形にしていく段階に入ってきています。市にはぜひとも皆さんから出ている期待や願いに応えてほしいと思います。難しくなったら、ここにいる皆さんの力を借りればいいんです。皆さんと一緒に機運を盛り上げていければと楽しみにしています。

参加者のアンケートから

・私の班は、皆さんの雰囲気もとても良く、理想的な空気感で議論できました。きれいな言葉にしようとすると言いたい、含めたいことを書けなかったりするものですが、今まで議論してきたことをより具体化する時間は必ず必要だと思うので、今日の時間はとても有益だったと思います。

・「新しい発想」にもう少し重点を置けばいいのではないかと思いました。他の地域では出ないような、花巻市民ならではの発想がもっと出れば、ワークショップ自体の質も上がったと思います。

・前回の意見より具体的にということでしたが、言葉の表現を変えることで、また見えてくる部分がより深く感じることが出来ました。

・発言を否定されないというところが、話しやすく『自分の図書館づくりに関われている』という感じがとても良いと思いました。

次回（最終回）の内容

日　時　令和 2 年 10 月 25 日（日）　9：00～12：00

場　所　花巻市交流会館　交流スペース

テーマ　『つくってみよう みんなのとしょかん②』

これまで考えてきた図書館のサービス・機能を発揮できる場所や施設について考えます。

としょかんワークショップ　一般編　第５回　まとめ

■日　時　　2020 年 10 月 25 日（日）　9：00～12：30
■場　所　　花巻市交流会館　交流スペース
■テーマ　　「つくってみよう みんなのとしょかん②」
■参加者　　32 名
■アドバイザー　　富士大学教授　早川　光彦　氏
■当日の内容

説明

最終回となる今回は、初めに、生涯学習部長からこれまで市が検討してきた建設場所や、複合施設の構想について説明を行いました。市では、立地適正化計画の都市機能誘導区域内で、まなび学園周辺と花巻駅東口周辺の 7 つの案を検討しています。どの場所でも延床面積は 4,500 ㎡で、可能な限り 2 階建てを基準としています。それぞれの候補地に建設した場合の計画平面図や、駐車場台数などの整備計画、建設スケジュールなどをお話ししました。

また、令和元年 1 月 29 日に公表した、「新花巻図書館複合施設整備事業構想」として、駅前に住宅を含めた複合施設を公民連携で建設する構想について説明を行いました。この構想については、その後具体化するために必要な調査までは行っておらず、建設場所や複合施設等について今回のワークショップを含め、市民のみなさんからご意見を伺っていきたいというものです。

このワークショップでは、これまで参加者の皆さんが理想の図書館を話し合いながら、サービスや図書館の機能についても具体的な内容を積みあげてきました。今回はこれまで考えてきた図書館の機能が一番発揮される場所はどこか、7 つの案に限らず、柔軟に考えていただきたいということで後半の話し合いに移りました。

※詳しい説明内容については、別紙「配布資料」や「詳細記録」をご覧ください。

グループワーク

これまでの話し合いで多くの班から「みんなが使いやすい図書館」というキーワードが出ました。子どもたち、学生、お母さん、高齢者、障がいを持っている方…どんな人でも来やすく、居心地がいい場所とするために、どこに図書館があったらいいのか。また普段は大迫、石鳥谷、東和の各地域にある図書館を使う人も、休日にゆっくり過ごしたり、高度な調べものをしたいときなどに、全市民が使える中央図書館として機能を活かせる場所はどこなのかなど、前回の話し合いの内容を振り返

りながら話し合いました。

最後に「まなび学園周辺」「花巻駅東口周辺」「その他」の大きく 3 つに分けて、各場所に建設した場合のメリットやデメリットなど、話し合った内容を発表しました。それぞれの候補地でよい点も課題となる点もあるものの、「図書館が魅力的であれば、場所はどこであろうと絶対に行く」、「市外に出た若者が帰ってきたときに、やっぱり花巻っていいなと思える図書館になってほしい」などの意見もありました。

※各テーブルで出た意見やアイディアは、別紙「WS まとめ」をご覧ください。

講評

その後、早川氏より次のとおり全体の講評をいただきました。

・今後、図書館の建設に求められる機能が幅広く網羅された意見やアイディアが出たワークショップとなりました。市も、参加者のみなさんからたくさんの選択肢を提案いただいたと思います。
・いくつもの自治体の図書館建設に関わってきましたが、これほどレベルの高いワークショップは初めてでした。
・このワークショップでは、これまで「図書館がこういうところであってほしい」「こういう機能を持った図書館にしたい」という話し合いを重ねたうえで、その図書館を実現するためにはどこの場所がいいか、という考え方で進めることができました。場所ありきではなく、一番望ましい形で議論をすることができました。
・参加者も市の職員も、全員で学びながら「いい図書館を実現したい」と一緒に取り組んできたこのワークショップは、花巻のこれからの図書館づくりに重要な役割を果たしていくと思います。

参加者のアンケートから

・今回のワークショップでは、様々な意見が出ましたが、求める、望むものの方向性は皆、同じ方を向いていたと思います。ぜひ、今までを踏まえて良い図書館ができたらいいなと思います。
・新しい図書館に対する参加者の気持ちのもりあがりを消さずに今後に活かしてほしいです。
・どのようにワークショップの意見がとりあげられていくのか今後の進め方を見続けていきたいです。
・今後も協力しますので、すてきな図書館をいっしょに作りましょう！

今後の予定

今回のワークショップで話し合われた内容については市広報でも報告し、さらに各種団体との意見交換会を実施するとともに、市民の皆さまに任意で参加いただきご意見等をいただく市民意見交換会を 11 月末を目途に開催する予定です。その後「新花巻図書館整備基本計画」素案作成を経て、市民参画ガイドラインに基づく市民参画手続きを実施し基本計画の策定を目指していきます。市民意見交換会等の詳細は市広報やホームページで随時お知らせします。

3 新花巻図書館整備特別委員会委員長報告

令和２年 12 月に市議会から報告されたもの。市への提言として、「建設場所について」「建設用地について」「複合施設について」の３つが記載されている

２花議第１０４号
令和２年１２月１７日

花巻市長　上　田　東　一　様

花巻市議会議長　　小　原　雅　道

新花巻図書館整備特別委員会委員長報告の送付について

このことについて、新花巻図書館整備特別委員会より委員長報告がありましたので、別添のとおり送付いたします。

受付
2.12.17
花巻市役所
総務課

新花巻図書館整備特別委員会委員長報告

1　はじめに

花巻市は令和２年１月２９日、新花巻図書館複合施設整備事業構想を発表されました。同構想は、建設場所をはじめ賃貸住宅との複合化や、５０年の賃貸借による用地の確保などについて、市民の参画や、市民や市議会に対し説明会が開催されないまま策定されたものです。

新花巻図書館の整備は、新市建設計画に掲げられた重要な事業であり、生涯学習の拠点として多くの市民に利用される施設です。このような施設の整備に当たっては、花巻市まちづくり基本条例に基づき、市民参画の手順を外すことなく進めることが大切です。また、市議会は花巻市議会基本条例第１３条の各号に定める事項を明らかにする責務があります。

以上のことから本市議会は令和２年３月１８日、議長を除く全議員で構成する新花巻図書館整備特別委員会を設置し、市民に情報が適切に提供され、使い勝手がよく、真に喜ばれる図書館となるよう、その整備について議論を深め、調査検討を進めてきたところです。

2　審査及び調査研究経過

本委員会は、令和２年３月１８日設置以来、これまで特別委員会を８回、４月２１日に設置した小委員会を１３回開催し、審査及び調査検討を進めてきました。小委員会では自由討議方式により多くの意見を出し合いながら方向性等を探り、これを特別委員会で議論し決定していくことを基本に審査を進めてきたところです。

この間、市当局に適宜出席を求め説明や考えを伺ったほか、６月には特別委員会の考えや市が早期に取り組むべき項目について、特別委員会意向書として議長を通じ市長に示しました。また、市民の意見を把握し反映していく必要があることから、８月に市内４会場で市民との意見交換会を開催し、併せてアンケート調査を行ったほか、花巻市立図書館協議会委員及び花巻市社会教育委員の皆さんとも意見交換を行ったところです。また、図書貸出冊数や利用者数が県内トップクラスにあり、高い評価を得ている一関図書館の視察を行いました。同図書館は「市民による市民のための図書館」を基本に据えて整備したとのことであり、機能・運営面や設備面、建物の構造など参考とすべき点が多数あったところです。

市民との意見交換会で寄せられた多数のご意見やアンケート調査の結果、さらに先進図書館の視察結果を踏まえ、９月定例会本会議において中間報告を行いました。市民への速やかな情報提供や新花巻図書館整備基本構想の忠実な反映、特別委員会意向書への対応など、市の一層の取り組みを促したところです。

このような経過を踏まえ、市では市民参画ガイドラインで示した基本計画の素案策定後に予定していた市民参画に加え、７月から１０月にかけて高校生や２０代の市民を対象にしたワークショップ、及び各種団体関係者や公募参加者によるワークショップを開催し、さらに、コロナ禍の影響により予定が変更になりましたが、素案策定前の段階において市民説明会を４会場延べ５回計画されるなど、市民の参画を得て素案づくりが進められています。市民説明会の資料についても、本特別委員会の意見を聴いて必要な修正が行われたところです。

また、議会が行った市民との意見交換会におけるアンケートや市民有志が行ったアンケート、市が開催したワークショップにおけるアンケート、それぞれの結果から、賃貸住宅との複合化は市民に望まれていないと判断され、これを見直すこととされるなど、市の対応には一定の評価ができるという状況へと変わってきています。

3　市への提言

以上のような経過を踏まえ、本特別委員会は、新図書館の早期整備は多くの市民が求めているものであること、基本計画の素案にこそ市民及び議会の意見が反映されるよう、時宜を逸することなく提言すべきであること等について意見の一致を見たことから、新花巻図書館が市民に愛され、市民の誇りとなる素晴らしい図書館が実現するよう、次のとおり提言し、市当局のなお一層の努力を求めます。

①　建設場所について

新花巻図書館整備基本構想の建設場所に関する方針に基づき、都市機能誘導区域内へ整備することとし、市が提案する花巻駅周辺及びまなび学園周辺のいずれかとされたいこと。なお、決定に当たってはその経過及び理由を明確に示し、市民の理解が得られるよう努めること。

②　建設用地について

建設用地は市有地とすること。借地に建設することにより将来にわたる財政負担と、土地利用上における権利関係の不安要素は避けるべきであること。

③　複合施設について

図書館単独での整備を基本とすること。新花巻図書館整備基本構想に盛り込まれた市民のくつろぎと交流のスペースとして、飲食コーナーは図書館に必要な機能の一つとして位置づけ、整備を検討されたいこと。

以上のとおり、本特別委員会の審査の経過と結果を報告し提言を申し上げ、本特別委員会の使命を終えることとしますが、今後とも私ども議員は、市民の生涯学習の拠点としてより良い図書館となるよう、その責務を果たしていかなければなりません。また市当局においても新花巻図書館の機能及び適正規模、その他重要な要素について、花巻市まちづくり総合計画や人口ビジョン、地域防災計画、保健福祉総合計画など各種計画との整合性を図りつつ、次代を見越し、市民目線や障がい者への配慮を常に念頭に置かれ、柔軟に対応されるよう強く求めます。

4 市民団体等からの提言・要望等

令和 3 年 12 月から令和 6 年 11 月までに受けた市民団体からの要望や提言の一覧

市民団体等からの提言・要望等（令和 3 年 12 月以降）

No.	団体名等	実施日	内容
1	HANAMAKI Book Marks	R4.3.24	・この施設が駅前に誕生することで、花巻の新たなシンボルとして駅前を起点に花巻全体を活性化する効果が生まれると考えます。
2	新花巻図書館まるごと市民会議、新花巻図書館を考える会	R4.4.4	・「新花巻図書館整備基本計画（試案）検討会議」で出された意見を尊重し、建設場所の早期決断をお願いいたします。
3	新花巻図書館まるごと市民会議	R4.7.4	・「新花巻図書館整備基本計画（試案）検討会議」で出された意見を尊重し、建設場所の早期決断をお願いいたします。 ・新花巻図書館整備基本計画（試案）の取りまとめについて、現場（現花巻図書館職員）の声を把握し、計画に反映してほしい。
4	イーハトーブ図書館を作る会	R5.2.13	・立地場所として、旧総合花巻病院跡地を希望します。 ・賢治という資源を活かした「花巻にしかない図書館」を要望します。
5	花巻病院跡地に新図書館をつくる署名実行委員会	R5.11.27	・新花巻図書館の場所は、旧花巻病院跡地の市有地にしてください。 ・新花巻図書館は、宮沢賢治ゆかりの地を生かした図書館にしてください。 ・新花巻図書館は、市民の交流の場となる多目的スペースを備えた図書館にしてください。 署名数 4,730 筆
6	HANAMAKI Book Marks	R6.3.12	活動目的でもある「若者の声を集める」ことを目的として市内高校生のアンケートを実施。 欲しいスペースなどの質問項目がある中、建設場所については、924 人中、駅前が 67%、まなび学園が 7%、どちらともいえないが 17%
7	新花巻図書館まるごと市民会議	R6.6.20	・新図書館整備の基本コンセプトについて ・建設地選定における意見集約の運営を第 3 者事業者に委ねることを反対します。
8	花巻病院跡地に新図書館をつくる署名実行委員会	R6.10.15	・新花巻図書館の場所は、旧花巻病院跡地の市有地にしてください。 ・新花巻図書館は、宮沢賢治ゆかりの地を生かした図書館にしてください。 ・新花巻図書館は、市民の交流の場となる多目的スペースを備えた図書館にしてください。 署名数 4,926 筆
9	花巻病院跡地に新図書館をつくる署名実行委員会	R6.11.25	・新花巻図書館の場所は、旧花巻病院跡地の市有地にしてください。 ・新花巻図書館は、宮沢賢治ゆかりの地を生かした図書館にしてください。 ・新花巻図書館は、市民の交流の場となる多目的スペースを備えた図書館にしてください。 署名数 613 筆　合計 10,269 筆

4 市民団体等からの提言・要望等

花巻病院跡地に新図書館をつくる署名実行委員会が集めた署名。令和５年から令和６年にかけて提出された

花巻市長　上田東一様

新花巻図書館建設の建設地は、旧花巻病院跡地に！

請願事項

1　新花巻図書館の場所は、旧花巻病院跡地の市有地にしてください。

駅前の JR の用地は狭く、線路わきで電車が通過する度に騒音や振動が発生、立体駐車場は高齢者や障がい者に使いづらく、維持費もかかります。市議会の特別委員会で新図書館は市有地でという条件を出したのに、JR の用地購入は税金の無駄遣いです。一方、病院跡地は敷地が広く、隣接のまなび学園と連携して生涯学習の拠点にふさわしい地区です。

2　新花巻図書館は、宮沢賢治ゆかりの地を生かした図書館にしてください。

日本の作家で世界の言語に最も多く翻訳されているのは宮沢賢治の作品です。世界中の賢治の翻訳本や CD などを収集して閲覧できるは、花巻図書館だからこそできます。稗貫農学校や花巻高等女学校があった跡地周辺は宮沢賢治と妹トシのゆかりの地で、国内外から宮沢賢治ファンが憧れて訪れるような図書館は、花巻のもうひとつの観光名所になります。

3　新花巻図書館は、市民の交流の場となる多目的スペースを備えた図書館にしてください。

市民が利用したくなる図書館は、多目的ギャラリーやカフェを併設すれば、市民の交流と憩いの場になります。霊峰・早池峰をのぞむ景観と花巻城址につづく公園や周辺の大堰川の散策路や商店街を整備して、歩いて楽しめる花巻のまちづくりと活性化が期待できます。使いやすさと建築設計のデザインも、未来の世代に誇れる図書館を希望します。

上記請願事項にご賛同いただける方は、署名をお願いします。花巻市外、岩手県外の方の署名も歓迎です。都道府県名からご記入下さい。尚、同一住所でも、省略なしで、記入してください。

氏　名	住　所

主催団体　　花巻病院跡地に新図書館をつくる署名実行員会（代表　瀧成子）
取り扱い団体　新花巻図書館を考える会、まるごと市民会議、イーハトーブ図書館をつくる会
お問合せ先　0198(33)0907（向小路まちライブラリー）、0198(22)7291（おいものせなか）
署名送付先　11 月 23 日必着　〒025－0084 岩手県花巻市桜町２丁目 187－1　実行委員会事務局（四戸・新田）

＃全国署名への経過説明や活動の様子は、おいものブログの中の「夢の新花巻図書館を目指して」で。oimonosenaka.com

5 花巻市立図書館来館者アンケート

令和 3 年から令和 6 年に現花巻図書館で実施。
新花巻図書館についてのご意見をまとめたもの

花巻市立図書館来館者アンケート（令和 3 年度～令和 6 年度）

花巻市立図書館では、市民によりよい図書館サービスを提供し、より利用しやすい図書館とするため、利用者からアンケートにより意見を聴取し、いただいた意見を参考に図書館管理及び運営に努めています。アンケートでは「新花巻図書館の整備について、思うこと」という設問を設けており、令和 3 年から 6 年度にいただいた回答約 450 件の内容について AI を活用し要約しました。

（1）各年度の調査期間及び回答数

年度	実施期間	回答数
R3	令和 3 年 12 月 22 日～ 令和 4 年 1 月 30 日	**261 人** （10 歳未満 2%、10 代 6%、20 代 2%、30 代 9%、40 代 18%、50 代 11%、60 代 25%、70 代以上 27%）
R4	令和 4 年 12 月 21 日～ 令和 5 年 1 月 29 日	**270 人** （10 歳未満 2%、10 代 6%、20 代 2%、30 代 13%、40 代 15%、50 代 11%、60 代 24%、70 代以上 27%）
R5	令和 5 年 12 月 24 日～ 令和 6 年 1 月 31 日	**293 人** （10 歳未満 2%、10 代 3%、20 代 2%、30 代 9%、40 代 12%、50 代 12%、60 代 27%、70 代以上 32%、無回答 1%）
R6	令和 7 年 1 月 10 日～ 令和 7 年 2 月 9 日	**233 人** （10 歳未満 1%、10 代 6%、20 代 3%、30 代 9%、40 代 13%、50 代 15%、60 代 18%、70 代以上 34%、無回答 1%）

（2）新花巻図書館の整備について寄せられた意見

①駐車場とアクセスの利便性について

・駐車場が広く、アクセスしやすい場所（車利用者に優しい）
・市中心部、交通の便が良い場所（市の人口構造を考慮）
・多くの人が利用しやすいよう駐車スペースの十分な確保、無料化
・平面駐車場

②立地について

・花巻駅周辺は利便性が高い
・駅前にあると観光資源としても期待でき、市外からの観光客にも良いイメージを与える
・利便性と静かな環境の両立
・静かな環境にあるほうが良い
・旧花巻病院跡地の利用を希望
・駅前構想に反対、特に自然環境を優先する

③コストと財政負担について

・シンプルでコストを抑える建造を望む
・市有地を活用し、賃貸料や買い上げを避ける
・大規模施設よりも効率的で持続可能な構造

④建物と設備について

・バリアフリー設計（エレベーター、広い通路など高齢者や障害者に配慮）
・明るく広い館内、静かな環境（落ち着ける空間）
・子ども向けスペースの充実
・子どもコーナーや母子が利用しやすい設備、紙芝居やおはなし会などのイベントの充実
・カフェや軽食スペースの併設
・会話やリラックスできる場所
・探索しやすい書架
・学習スペースや自習室の設置
・カフェや休憩スペースの併設
・高齢者や障がい者に配慮した施設設計
・幼児や高齢者向けの安全な駐車場、便利で明るいトイレ

⑤蔵書と資料について

・蔵書の充実、新刊の追加
・郷土資料や特定ジャンルの拡充
・電子書籍やデジタル資料の導入

⑥運営とサービスについて

・専門職員の配置と育成
・ユーザーフレンドリーなシステム（セルフ貸出機、検索システムの充実）
・延長利用や効率的な運営体制

⑦早期建設について

・早く建設を進めてほしいという強い要望
・長期の議論を経て進展がないことへの不満
・場所に対するこだわりがないが、早く決まって欲しい

6 新花巻図書館建設候補地比較調査結果について（概要版）

令和６年 11 月に議員説明会で公表。比較調査結果の概要資料

新花巻図書館建設候補地比較調査結果について（概要版）

生涯学習部新花巻図書館計画室

比較調査実施の背景

Ⅰ．新花巻図書館整備基本構想

2017年に、市民参画を経て策定した「新花巻図書館整備基本構想」において、整備方針を整理し、建設場所に関する方針で以下のとおり、花巻市立地適正化計画に定める都市機能誘導区域内に図書館を整備することとしている。

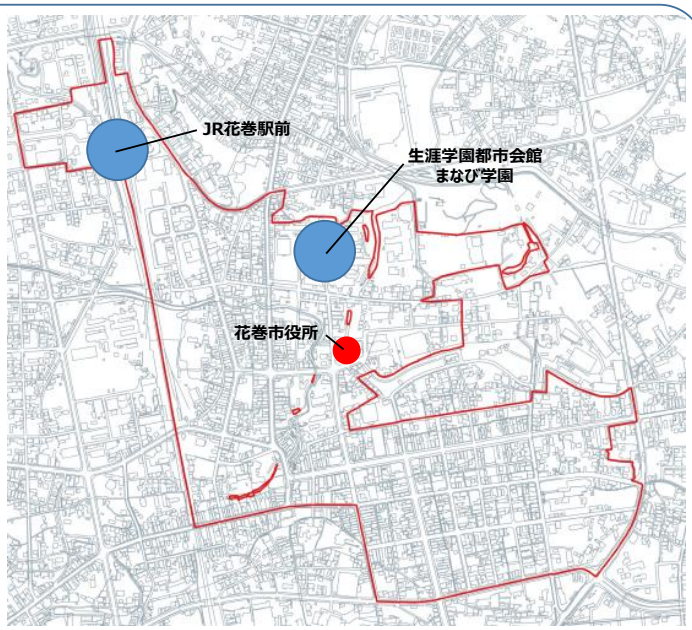
新花巻図書館の建設場所に関する方針

図書館は、市民をはじめとする利用者にとって利用しやすい場所にあるべき。

- 交通アクセスが良くわかりやすい場所
- 市全域から行きやすい場所
- 十分な駐車場が確保できる場所

図書館は、市街地再生に資する施設としてまちづくりや都市計画とも整合したものとする必要がある。

- 「都市機能誘導区域」内に整備
- 近接施設との連携や他施設との複合化など民間との連携も含めて検討



花巻市立地適正化計画　都市機能誘導区域における新図書館建設候補地

候補地を数か所選定した上で基本計画において場所を定める

比較調査実施の背景

Ⅱ．新花巻図書館整備基本計画試案の検討

基本構想をもとに基本計画を策定するため、2021年から基本計画の試案を検討する試案検討会議を開催。
方向性が整理されたソフト面については、本年の広報はなまき 6月15日号に掲載。

試案検討会議で整理された主なソフト・機能面

全体面積

現図書館 1,304 ㎡ ▶ 新図書館 4,500 ㎡

収蔵資料数

現在 21万冊 ▶ 開館時 28万冊 将来的に最大 70万冊

多様な活動スペース

学習スペース・読み聞かせ室
講座・集会・会議室
研究室・高齢者・障がい者へのサービス対応室 等

74 ㎡ ▶ 800 ㎡

開館時間 ●図書貸出サービス提供時間

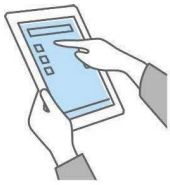
現花巻図書館 9:00~18:00 ▶ 新花巻図書館 9:30~19:00

学習スペース等の利用は9:00～21:00を検討しています。

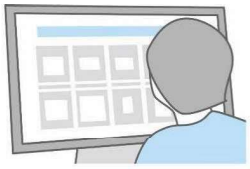
主な新規拡充サービス

自動貸出機コーナーを拡充

レファレンス（相談・支援）専用カウンターを設置



パソコンやタブレットを貸出し、館内資料の検索等に活用



貴重な地域資料や古文書、古地図などをデジタル化し、保存・活用

車いすでも利用できる書架・家具の配置

比較調査実施の背景

Ⅲ．新花巻図書館建設候補地の検討

これまで行ってきた市民ワークショップや市民説明会などで、新花巻図書館の建設候補地は、JR花巻駅前と総合花巻病院跡地の２か所に絞られてきた。

これまでの経過（2016~2023）

2016.6
立地適正化計画に生涯学園都市会館周辺への「図書館（複合）の移転・整備事業」と記載

2017.8
「新花巻図書館整備基本構想」を市民参画手続きを経て策定

立地適正化計画に示す「都市機能誘導区域」に整備することと記載

2020.1.29
複合施設整備事業構想について、議員説明会を開催

花巻駅前のJR東日本所有地を50年の定期借地契約による住宅との複合施設の整備案について説明

2020.3.18
花巻市議会に「新花巻図書館整備特別委員会」設置

2020.7~10
新図書館整備に市民の意見を取り入れるため市民ワークショップ開催
- 高校生20代：2回
- 一般：5回

2020.11~2021.2
新図書館の内容について区長会や商工会議所等と意見交換を実施
- 12回開催

市民を対象とした市民説明会開催（コロナ禍によりオンライン開催）
- 3回

2020.12.17
「新花巻図書館整備特別委員会」委員長報告
- 建設場所について、「駅周辺及びまなび学園周辺のいずれかとすること」
- 建設用地は市有地とすること
- 図書館単独の整備を基本とすること

2021.4~
基本構想に基づく具体的なサービスや機能を検討する「新花巻図書館整備基本計画試案検討会議」を設置し、検討開始

試案検討会議においては、花巻駅前と、どちらかといえば花巻駅前を希望する意見が多かった。

2022.10~12
新図書館のサービスや機能、建設候補地選定にあたり、JR東日本と条件確認をしたい旨の市民説明会開催

病院跡地を希望する意見や両方の候補地に整備する場合のそれぞれの事業費の比較検討なしには、建設場所について判断できないという意見あり

2023.3
総合花巻病院との協定に基づく旧病院建物等解体工事終了

2023.12
JR東日本と協議し、譲渡する場合の現時点での条件提示を受ける

比較調査実施の背景

これまでの経過（2023~）と今後の予定

2023.12
市民の対話による意見集約を行うため、令和５年12月定例会において、建設候補地比較調査の補正予算を議決

2024.1~
建設候補地ごとの事業費やそれぞれの候補地に建設した場合のイメージ図の作成などを専門業者に委託し実施

2024.6
令和６年6月議会において、公募プロポーザルにより業者を選定し、市民の対話を通じて意見集約（花巻駅前、総合花巻病院跡地）を実施するための補正予算を議決

2024.7~8
意見集約を行う業者を選定するための公募プロポーザルを実施

１社申し込み。選定委員会が設定した評価項目と基準点により審査したが、合格の基準点に達しなかった。

2024.8
対話型の意見集約などに実績がある慶應義塾大学ＳＦＣ研究所に助言や監修と、ファシリテーター紹介を依頼

2024.9
同研究所から、慶應義塾大学大学院特任教授であるLOCAL＆DESIGN株式会社代表取締役山口覚氏を紹介。山口氏の支援で対話の進め方などを検討

2024.11.10~
比較調査結果の概要版資料を用いて、調査結果に関する市民説明会の開催予定

2024.11.17~
比較調査結果資料を用いて、「対話」を通じてお互いの意見や考え方を共有する市民会議を全3回開催予定（状況により4回目を開催する場合あり）

第１回目：2024年 11月17日(日)
第２回目：2024年 12月21日(土)
第３回目：2025年　１月26日(日)
第４回目：2025年　２月15日(土)　※予備日

1　新花巻図書館建設候補地比較調査の業務概要

報告書
P1~P6

1-1　業務の目的

「新花巻図書館整備基本計画（試案）」を精査するため、技術的な観点から必要な規模や機能等を検証するとともに、建設候補地（２箇所）に係る概算事業費の算定及びイメージパースを作成する。

1-2　業務の内容

業務名　　：新花巻図書館建設候補地比較調査業務委託
業務場所　：花巻市　大通り１丁目･花城町　地内
履行期間　：令和6年1月19日～令和6年10月15日
発注者　　：花巻市　生涯学習部　新花巻図書館計画室
受注者　　：大日本ダイヤコンサルタント株式会社　盛岡事務所

1-4　業務のフロー

計画準備

駐車需要推計

① 新花巻図書館の来館者目標に基づく必要駐車台数の検討

② 建設候補地の周辺施設利用における必要駐車台数への影響検討

③ 新花巻図書館の駐車必要台数の策定

図書館事業費等の比較

① 建設候補地の現況整理
② 新花巻図書館整備基本計画（試案）の検証
③ ゾーニングプランの検討
④ 土地利用計画図の作成
⑤ 建物基本計画の検討
⑥ 概算事業費の作成
⑦ イメージパースの作成

業務報告書の作成･納品

2　駐車需要推計

報告書 P7～P66

駐車台数は、国土交通省都市局算定「大規模開発地区関連交通計画マニュアル改訂版」及び平成19年2月1日経済産業省告示第16号「大規模小売店舗を設置する者が配慮すべき事項に関する指針」を参考に、花巻市の実情にあわせ、以下の式で算出

駐車台数=A×B×C÷D×E

項目		平日	休日	備考
A 来館者目標数（人）	－	1,200	1,800	利用登録率の目標（全国の貸出密度上位の自治体と同程度）及び他市先進図書館の利用状況等から
B ピーク率（%）	（ピーク１時間あたりの来館者数）／（日来館者数）	13.6	14.4	現花巻図書館の曜日別時間帯別利用統計（H28～R1、R5年度）から
C 自動車分担率（%）	（自動車による日来館者数）／（日来館者数）	79.6	81.5	現花巻図書館の利用状況調査（R６年度）から
D 平均乗車人員（人/台）	（自動車による日来館者数）／（日来館自動車数）	1.16	1.52	現花巻図書館の利用状況調査（R6年度）から
E 平均駐車時間係数	（平均駐車時間）／ 60分	0.91	0.91	現花巻図書館の利用状況調査（R5年度）の結果に新花巻図書館の整備による滞在時間の増加を考慮
	駐車台数（台）	102	126	

花巻市と人口規模が近く、新花巻図書館と同規模の図書館を整備した他自治体の整備事例を確認すると、平均で111 台程度である。

他市整備事例の平均台数（111台）と上記表の休日における算定結果（126台）をあわせて検討すると、およそ120 台が新花巻図書館に必要な駐車場台数の目安になる。

新花巻図書館に必要な駐車場台数の目安　およそ 120 台

3　図書館事業費等の比較　3－3　ゾーニングプランの検討　3-3-1　検討事項

報告書 P93～P94

（1）花巻駅前スポーツ用品店敷地について

①　無散水消雪施設について

図書館前に芝生広場を整備する際、駅前多目的広場の融雪施設（無散水消雪施設）の改修を要する。

図書館を２階建てとする場合、広場に埋設されている消雪管の改修のほか、操作盤の移設等が必要であり、改修費は大きくなる。

一方、3階建ての場合、広場内の消雪管の改修は必要だが、操作盤の移設等は不要となるため、無散水消雪施設の改修費は２階建ての場合よりも低減できる。

そのため、図書館本体について２階建てとする案、３階建てとする案を検討した。

②　駐車場について

「２　駐車需要推計」で検討した駐車台数（120台程度）を確保するため、既存駐車場について立体的あるいは平面的な拡張が必要。

立体的な拡張として、花巻駅南駐車場（第１）、花巻駅南駐車場（第2）、スポーツ用品店南側の隣接駐車場を立体駐車場化する場合、隣接駐車場と花巻駅南駐車場（第２）の両方を立体駐車場とした上で連結する場合を検討した。

また、平面的な拡張として、花巻駅南駐車場（第２）西側の市道・大通り１丁目プラザ線の一部を廃止の上で同駐車場を西側に拡張する場合、花巻駅南駐車場（第１）を多目的広場側まで拡張する場合を検討した。

（2）総合花巻病院跡地について

病院跡地については敷地が広いことから、２階建て以外に１階建ての可能性についても検討した。

p95 表2-19 検討した配置案（ゾーニングプラン）

		駅前スポーツ用品店敷地										総合花巻病院跡地	
		案①	案②	案③-1	案③-2	案④	案⑤	案⑥	案⑦-1	案⑦-2	案⑧	案①	案②
Ⅰ．階数		2階	3階	3階	2階	3階	3階	3階	3階	2階	3階	2階	1階
Ⅱ．駐車場形態	隣接（敷地内）駐車場	平面	平面	平面	平面	平面	立駐	立駐	平面	平面	平面	平面	平面
	周辺駐車場			南駐車場（第２）を立駐化	南駐車場（第２）を立駐化	南駐車場（第１）を立駐化		南駐車場（第２）を立駐化	南駐車場（第２）を平面拡張	南駐車場（第２）を平面拡張	南駐車場（第１）を平面拡張		

3　図書館事業費等の比較　3－4　土地利用計画図の作成

P 95、P107、
P 121～P 122

（1）花巻駅前スポーツ用品店敷地について

図書館は、現状、スポーツ用品店がある位置への配置を基本。芝生広場の規模は、花巻まつりにおける山車の出入り、各種イベント、なはんプラザCOMZ ホールへの大型資機材搬入等の動線を考慮。

駐車場について、「２　駐車需要推計」で検討した駐車台数を確保するため、隣接駐車場と花巻駅南駐車場の併用を考え、それぞれの配置案について整備可能な駐車台数を検討。

（2）総合花巻病院跡地について

敷地北側の一部や東側の濁堀には土砂災害防止法と急傾斜地法による指定があり、建物の建築や人の誘導ができないため、上部平坦地内で、図書館本体、芝生広場、駐車場を整備することを検討。

また、宅地造成及び特定盛土等規制法により、建物を建てる場合は法面の改修が必要。

これらを考慮した場合でも２階建てであれば、図書館や芝生広場を整備した上で駐車場も敷地内に十分確保可能である。

なお、１階建てとした場合についても検討。

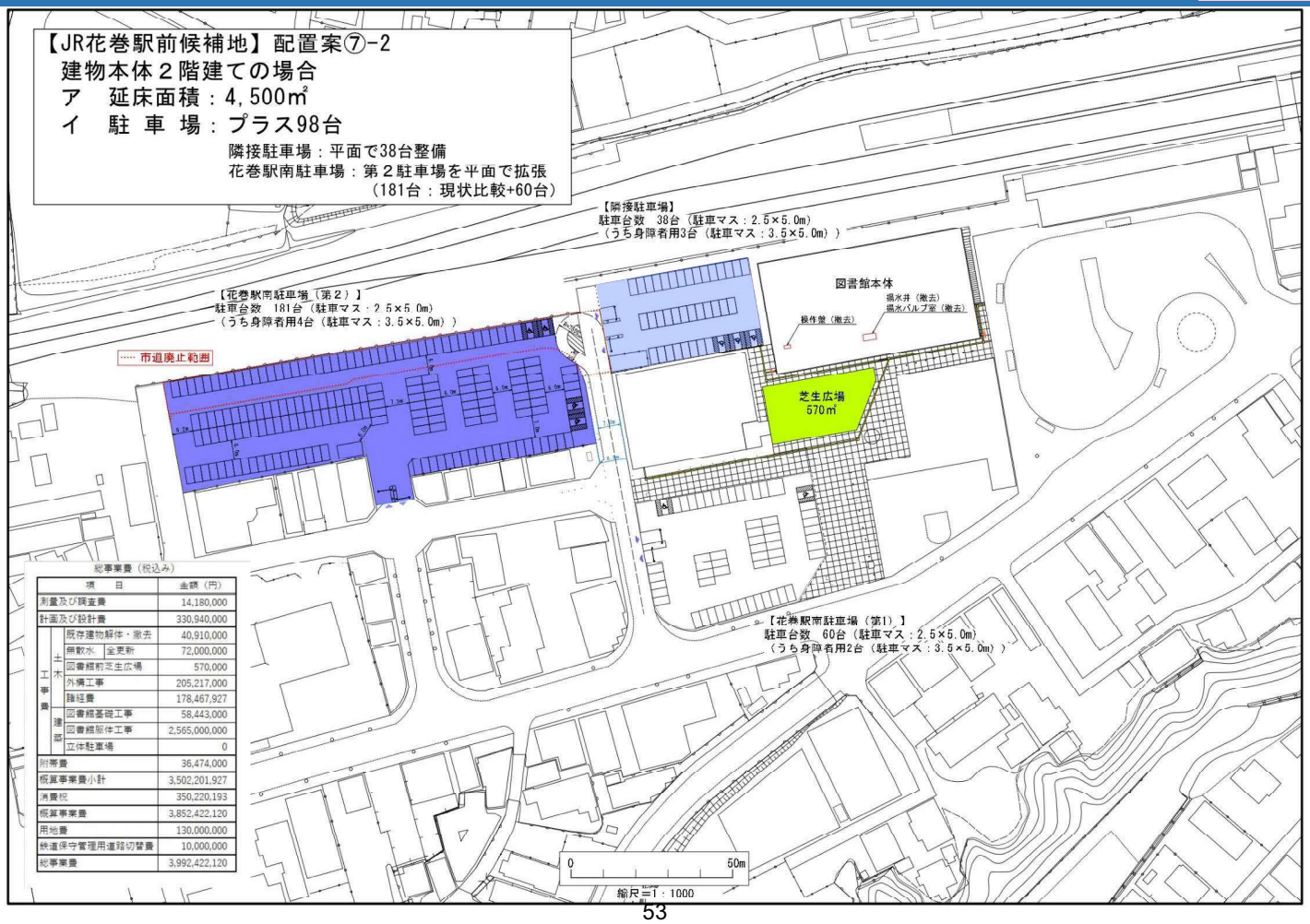
p 114　表3-11　土地利用計画比較表

		駅前スポーツ用品店敷地										総合花巻病院跡地	
		案①	案②	案③-1	案③-2	案④	案⑤	案⑥	案⑦-1	案⑦-2	案⑧	案①	案②
Ⅰ．階数		2階	3階	3階	2階	3階	3階	3階	3階	2階	3階	2階	1階
Ⅱ．駐車場形態	隣接（敷地内）駐車場	平面	平面	平面	平面	平面	立駐	立駐	平面	平面	平面	平面	平面
	周辺駐車場			南駐車場（第２）を立駐化	南駐車場（第２）を立駐化	南駐車場（第１）を立駐化		南駐車場（第２）を立駐化	南駐車場（第２）を平面拡張	南駐車場（第２）を平面拡張	南駐車場（第１）を平面拡張		
設置可能な駐車台数（台）		41	47	102	102	94	47	106	98	98	95	118	58
事業費（億円）		37.4	36.4	47.0	48.0	42.4	38.8	49.4	39.0	39.9	38.6	36.3	36.2
法的規制		・商業地域（80/400）・準防火地域 ・市街地景観地区（岩手県）										・第二種中高層住居専用地（60/200））・準防火地域 ・北側斜線・日影規制 ・市街地景観地区（岩手県） ・埋蔵文化財包蔵地 ・土砂災害法・急傾斜地法 ・特定盛土法	

報告書では３つの配置案（駅前：配置案⑦-1及び配置案⑦－２、病院跡地：配置案①）のイメージパースを作成しているが、図書館内の使いやすさから、本概要版では配置案⑦－２と病院跡地における配置案①の２案を示す（その他の案については、概要版末尾の「参考資料」に掲示）。

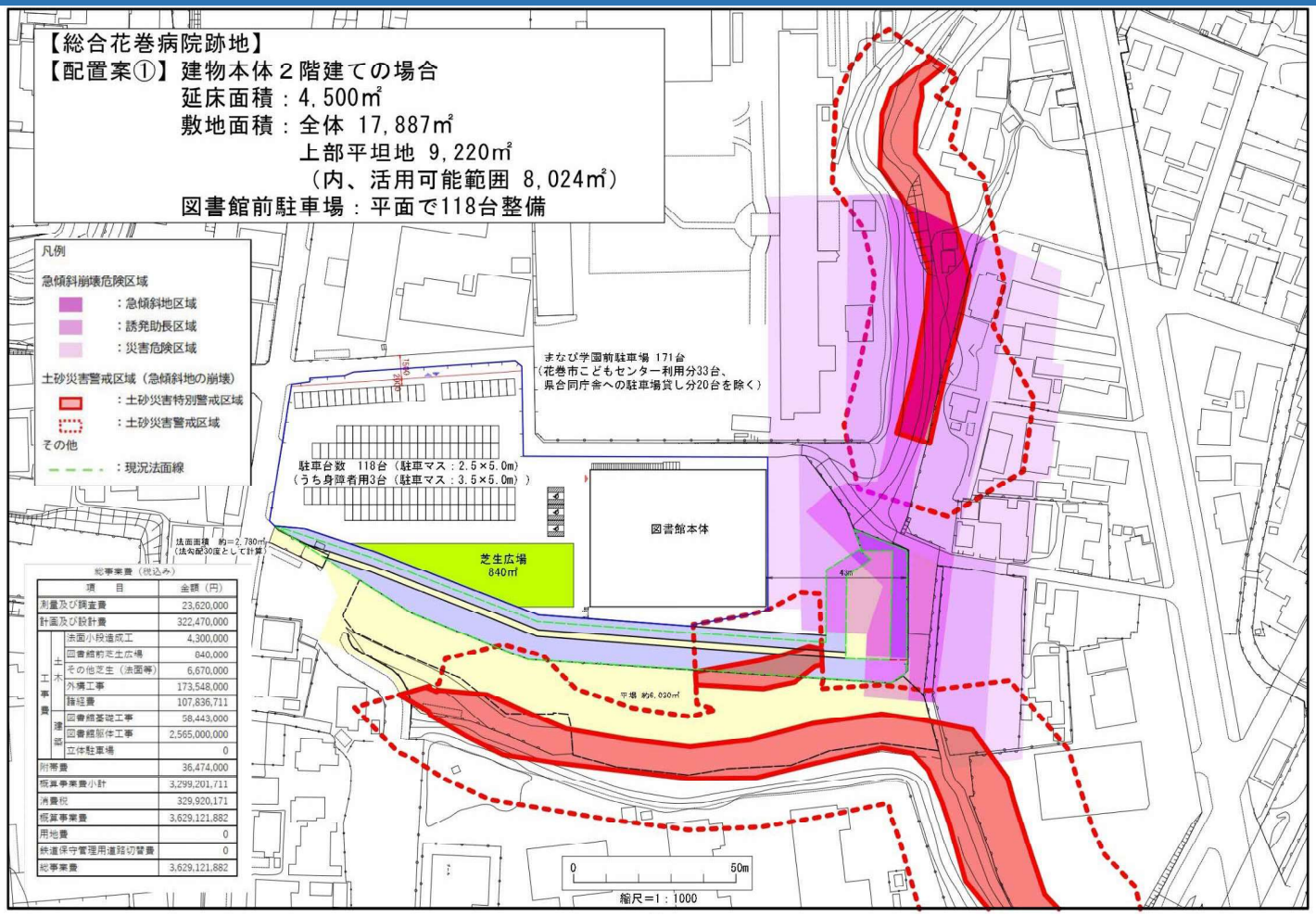
3-4-2　土地利用計画図　ＪＲ花巻駅前候補地　配置案⑦－２

報告書 P116



3-4-2 土地利用計画図 総合花巻病院跡地 配置案①

報告書 P118



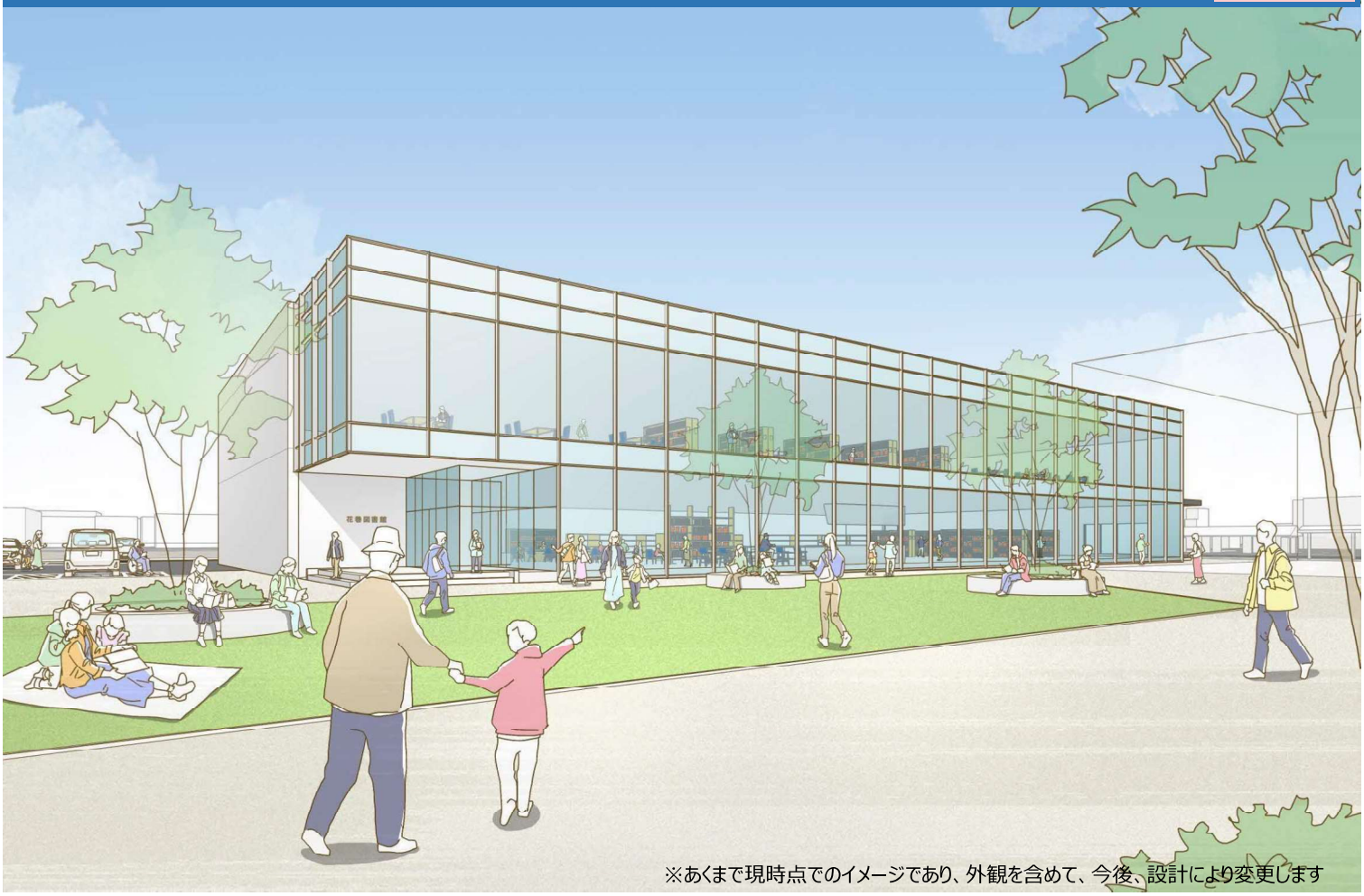
3－8 イメージパースの作成 （1）外観・鳥瞰 駅前候補地・２Ｆ建て

報告書 P147

※あくまで現時点でのイメージであり、外観を含めて、今後、設計により変更します

３－８　イメージパースの作成　（1）外観・アイレベル　駅前候補地・２Ｆ建て

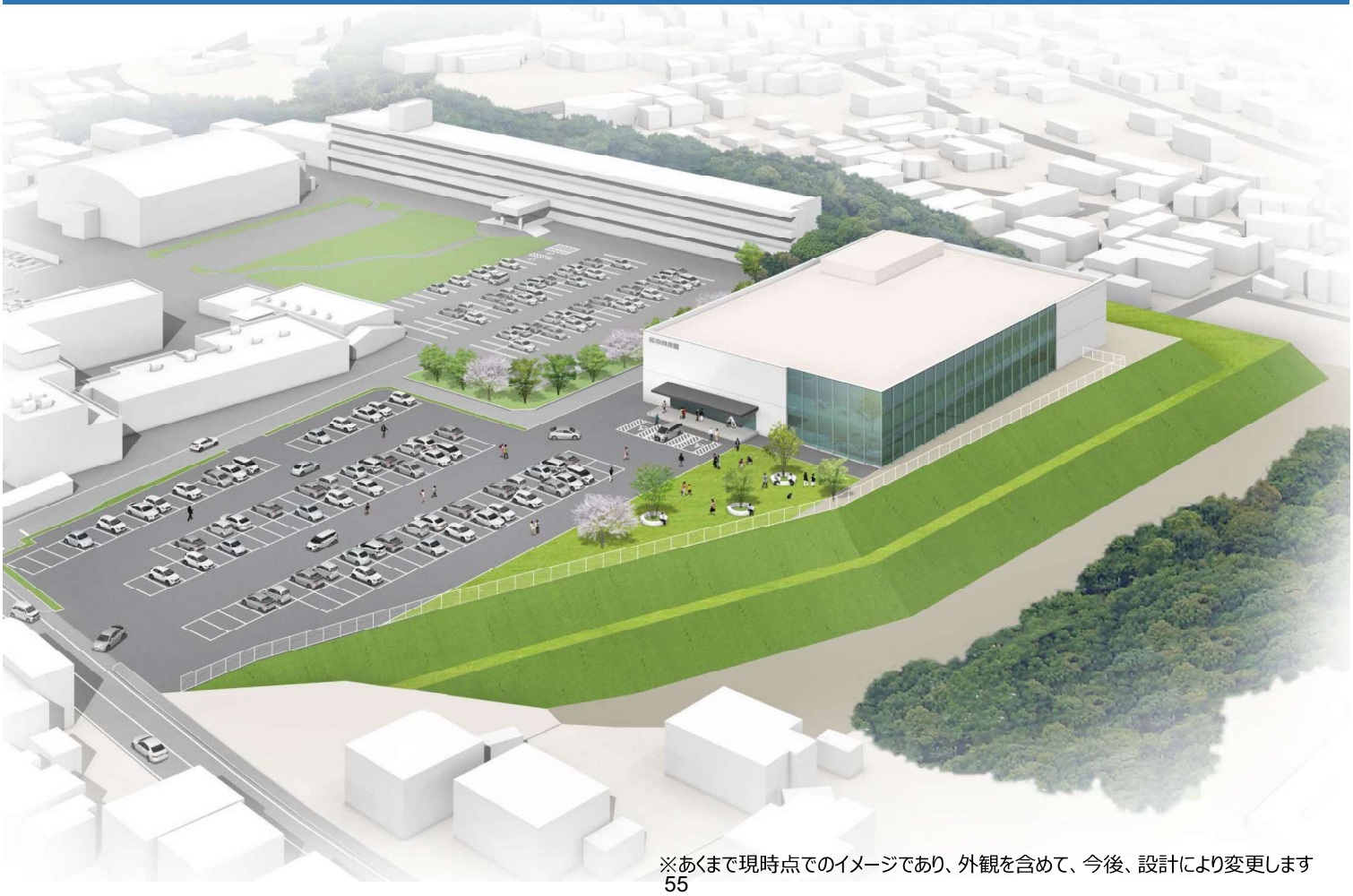
報告書 P149



※あくまで現時点でのイメージであり、外観を含めて、今後、設計により変更します

３－８　イメージパースの作成　（1）外観・鳥瞰　総合花巻病院跡地・２Ｆ建て

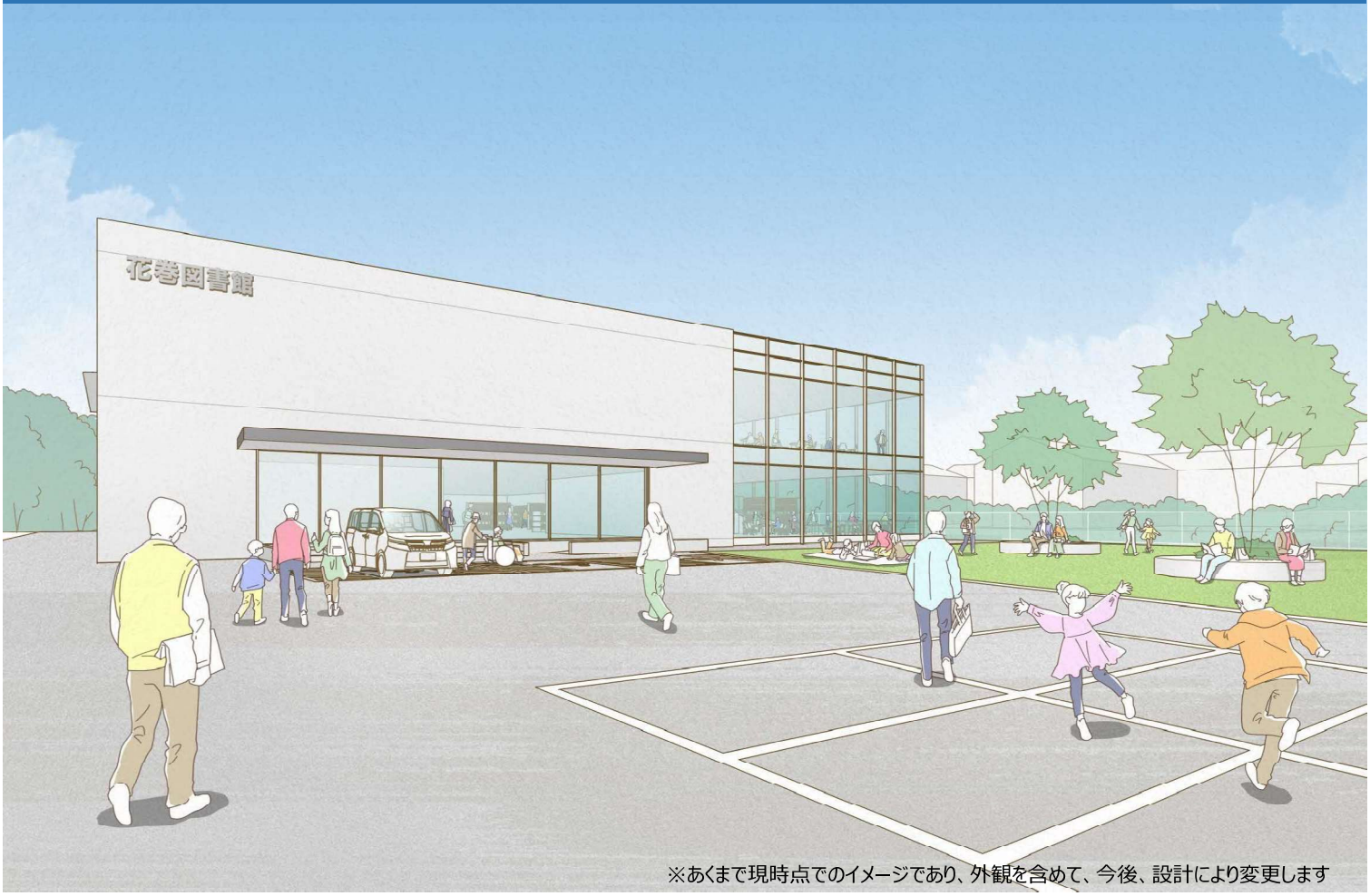
報告書 P148



※あくまで現時点でのイメージであり、外観を含めて、今後、設計により変更します

3－8　イメージパースの作成　（1）外観・アイレベル　総合花巻病院跡地・２Ｆ

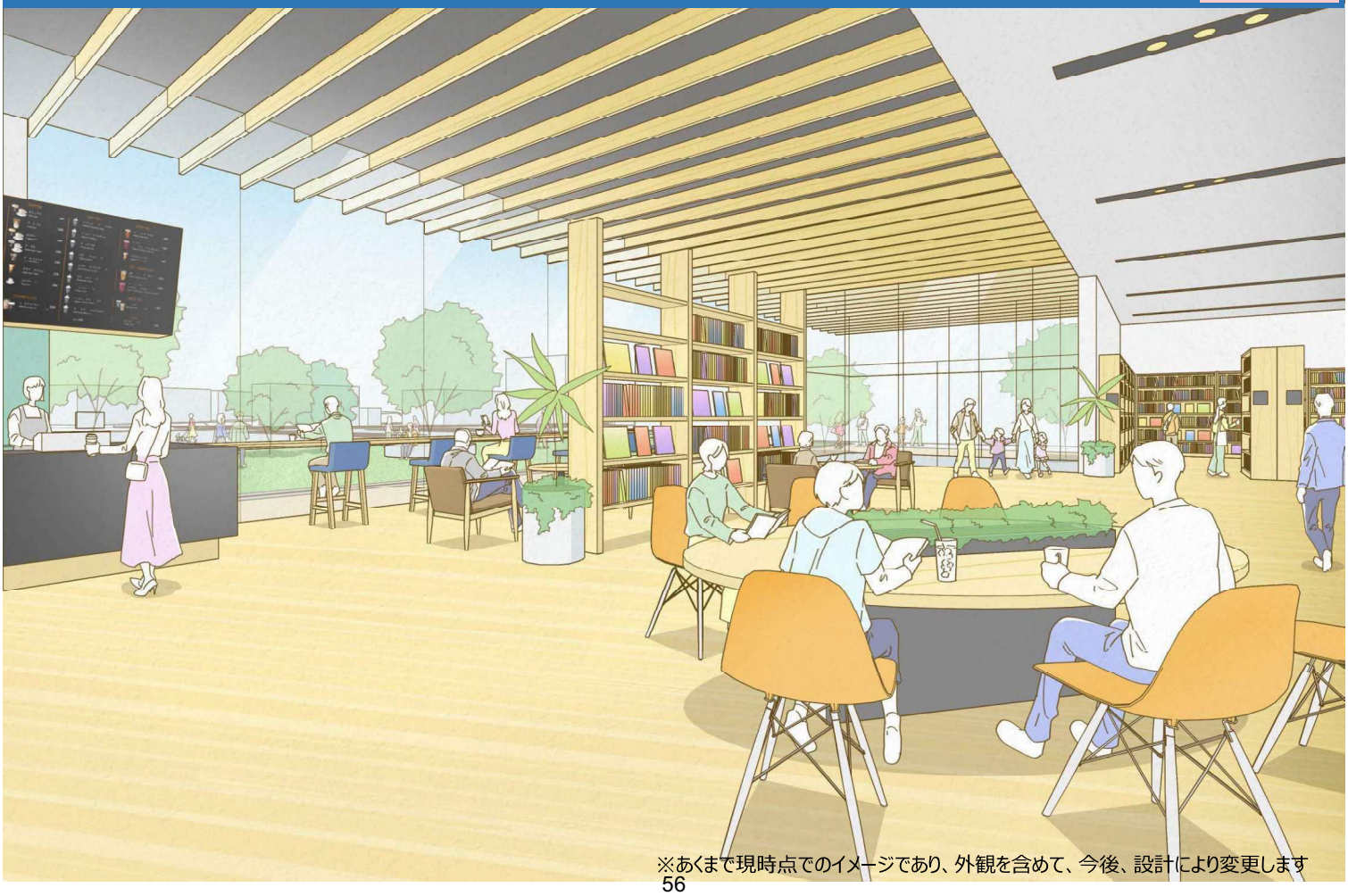
報告書 P149



※あくまで現時点でのイメージであり、外観を含めて、今後、設計により変更します

3－8　イメージパースの作成　（２）内観パース①　エントランス・カフェラウンジ

報告書 P150



※あくまで現時点でのイメージであり、外観を含めて、今後、設計により変更します

3－8　イメージパースの作成　（2）内観パース②　レファレンスコーナー

報告書 P150

※あくまで現時点でのイメージであり、外観を含めて、今後、設計により変更します

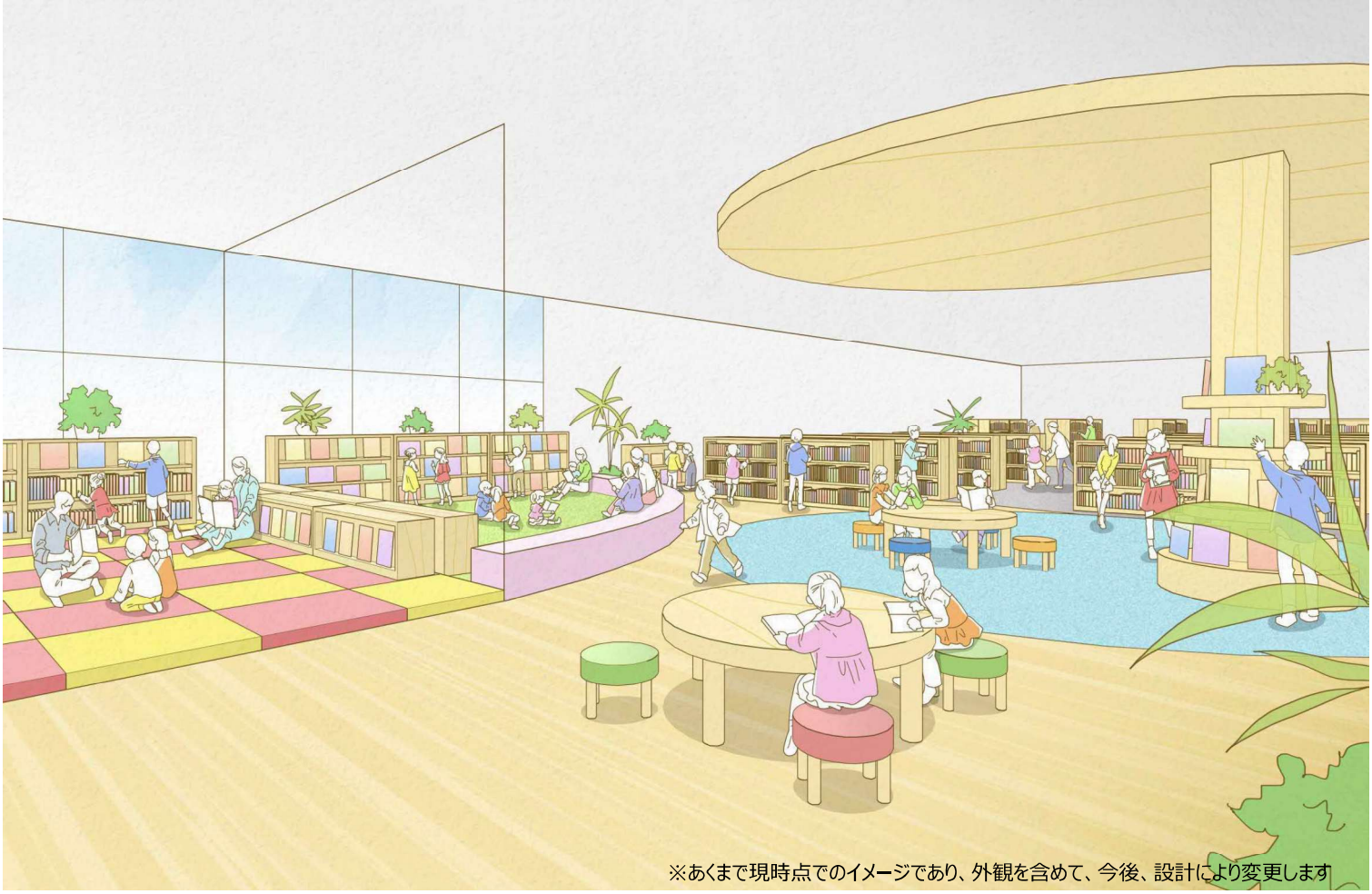
3－8　イメージパースの作成　（2）内観パース③　一般開架スペース

報告書 P151

※あくまで現時点でのイメージであり、外観を含めて、今後、設計により変更します

３－８　イメージパースの作成　（２）内観パース④　子どもスペース

報告書 P151



※あくまで現時点でのイメージであり、外観を含めて、今後、設計により変更します

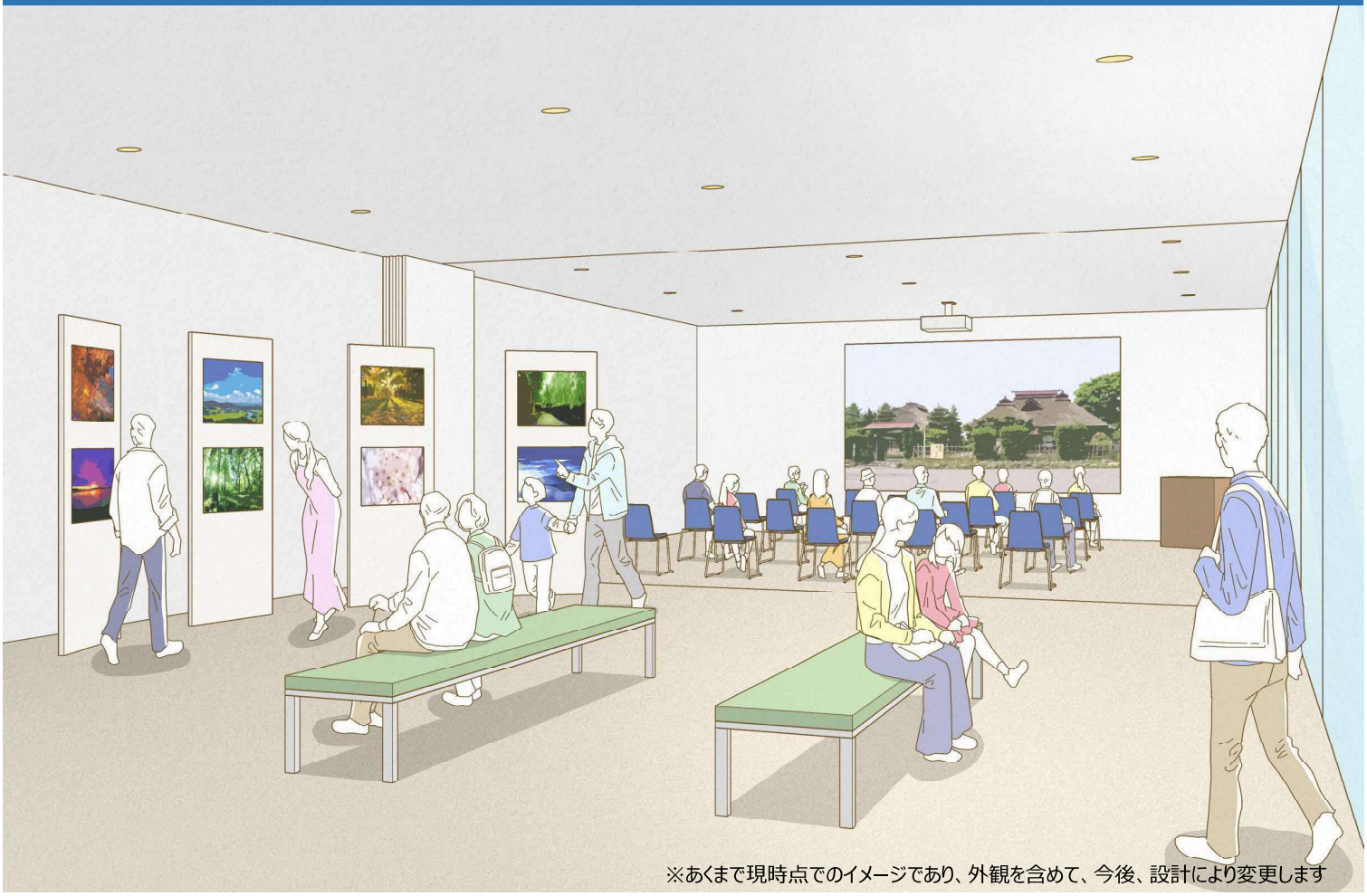
３－８　イメージパースの作成（２）内観パース⑤スヌーズレンに対応したスペース

報告書 P152

※あくまで現時点でのイメージであり、外観を含めて、今後、設計により変更します

3－8　イメージパースの作成（２）内観パース⑥　講座、集会、多目的ギャラリー

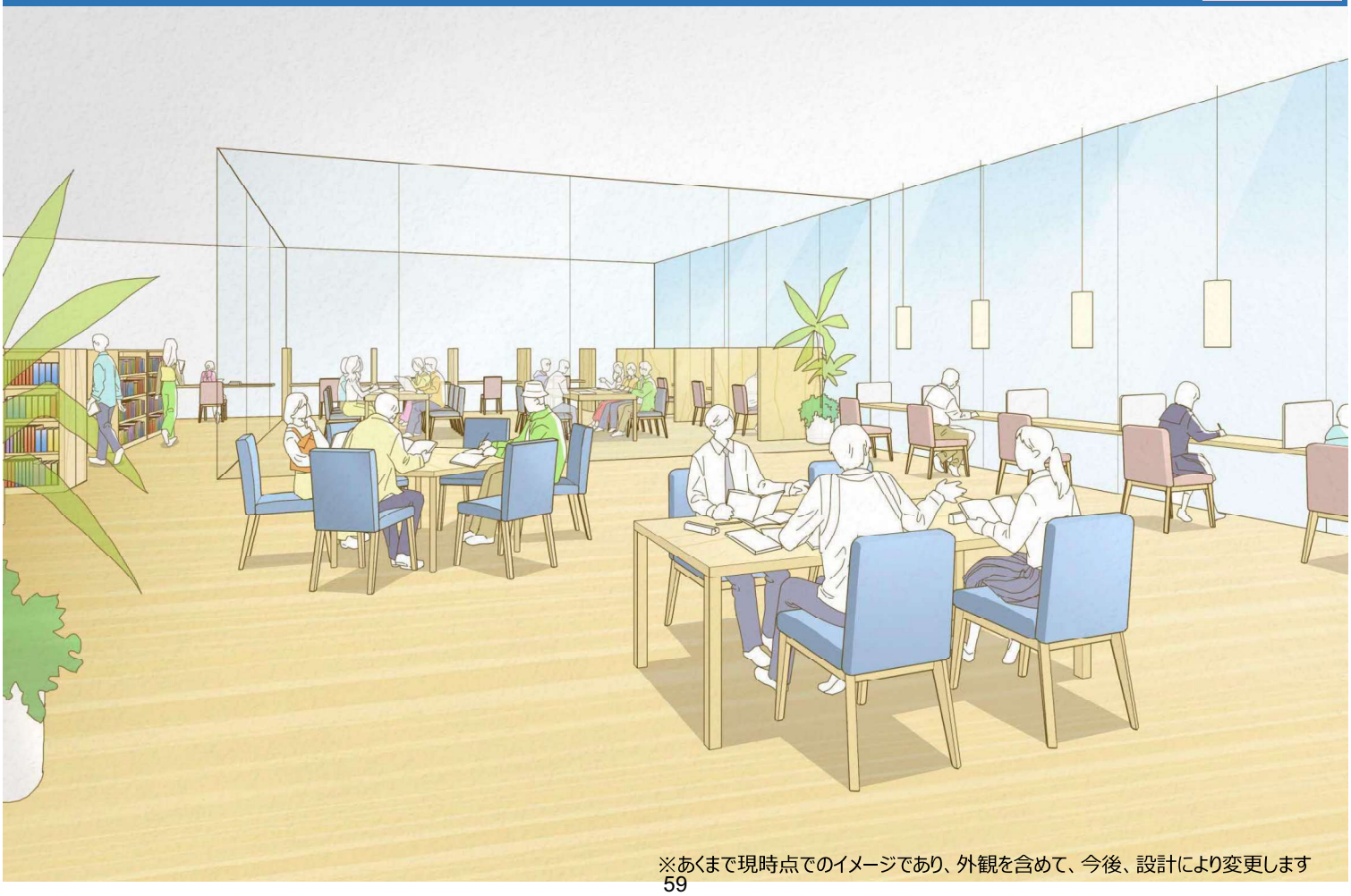
報告書 P152



※あくまで現時点でのイメージであり、外観を含めて、今後、設計により変更します

3－8　イメージパースの作成　（２）内観パース⑦　学習コーナー

報告書 P153



※あくまで現時点でのイメージであり、外観を含めて、今後、設計により変更します

3－8　イメージパースの作成　（2）内観パース⑧　賢治･先人･郷土コーナー

報告書 P153

3-7-3　事業費内訳表

- 国の補助制度「都市構造再編集中支援事業」の活用を予定
- 市負担分には合併特例の活用を想定
- 合併特例債は、返済額の70%が国からの交付税措置されるため、市の実質的負担額は市負担額から交付税措置額を除いた額

1.JR花巻駅前

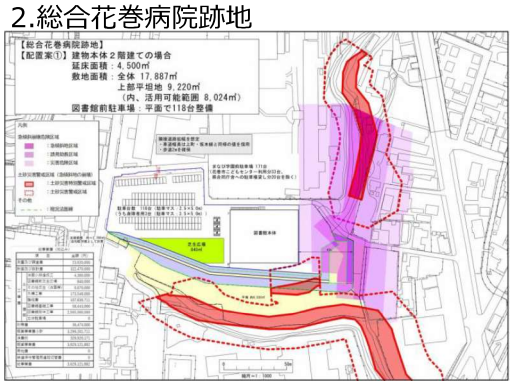
項　目			金額（千円）
測量及び調査費			14,180
計画及び設計費			330,940
工事費	土木	既存建物解体・撤去	40,910
		無散水　全更新	72,000
		図書館前芝生広場	570
		外構工事	205,217
		諸経費	178,468
	建築	図書館基礎工事	58,443
		図書館躯体工事	2,565,000
附帯費			36,474
積算事業費小計			3,502,202
消費税			350,221
概算事業費①			3,852,423
用地費②			130,000
鉄道保守管理用道路切替費③			10,000
総事業費（①+②+③）			3,992,423

概算事業費　約 **39.9** 億円

財源内訳　（単位：億円）

国庫補助額	市負担分に合併特例債（充当率95%）を活用した場合	
15.0		
市の形式的負担額	交付税措置額（返済額の70%）	
24.9	16.5	
	市の実質負担額	
	8.4	

2.総合花巻病院跡地



項　目			金額（千円）
測量及び調査費			23,620
計画及び設計費			322,470
工事費	土木	法面小段造成工	4,300
		図書館前芝生広場	840
		その他芝生（法面等）	6,670
		外構工事	173,548
		諸経費	107,837
	建築	図書館基礎工事	58,443
		図書館躯体工事	2,565,000
附帯費			36,474
積算事業費小計			3,299,202
消費税			329,921
総事業費			3,629,122

概算事業費　約 **36.3** 億円

財源内訳　（単位：億円）

国庫補助額	市負担分に合併特例債（充当率95%）を活用した場合	
15.0		
市の形式的負担額	交付税措置額（返済額の70%）	
21.3	14.1	
	市の実質負担額	
	7.2	

参考　都市構造再編集中事業補助金概要

○補助対象：**施設の整備に要する費用**

※整備に要する費用の例

- 実施設計費（基本設計費は対象外）
- 用地購入費
- 建物購入費（誘導施設を整備するために必要な場合）
- 既存建物除却費（誘導施設を整備するために必要な場合）
- 土地造成費
- 建設工事費
- 外構工事費
- その他誘導施設整備に附帯する工事費

○上限額：**３０億円**（ZEB Ready以上の省エネ性能水準に適合する建築物整備の場合）

「ZEB」とはZero-Energy-Buildingの略で、快適な室内環境を保ちながら、負荷制御、自然エネルギーの利用と高効率設備の導入により省エネに努めて建物内の消費エネルギーを最小化しつつ、太陽光発電などにより創出したエネルギーの活用を目指した建物。2017年４月以降、延床面積2,000㎡以上の新築非住宅建築物等は省エレルギー基準の適合が義務化されている。再生可能エネルギーの導入や、一次エネルギー消費量の削減などの基準により、「ZEB」「Nearly ZEB」「ZEB Ready」「ZEB Oriented」の区分がある。

○補助率：**５０％**（誘導施設の整備に要する費用に対して）

※駐車場整備について
　図書館に附帯する駐車場（図書館用）については、図書館整備に要する費用として計上可能。
　仮に、図書館利用者用と一般利用者用が混在して利用する駐車場について、図書館利用者用と一般利用者用との切り分けが可能であれば、駐車場整備費を図書館利用者分の台数で案分し図書館整備費に計上可能。
（一般利用者用の駐車場整備費については、補助率１／８）

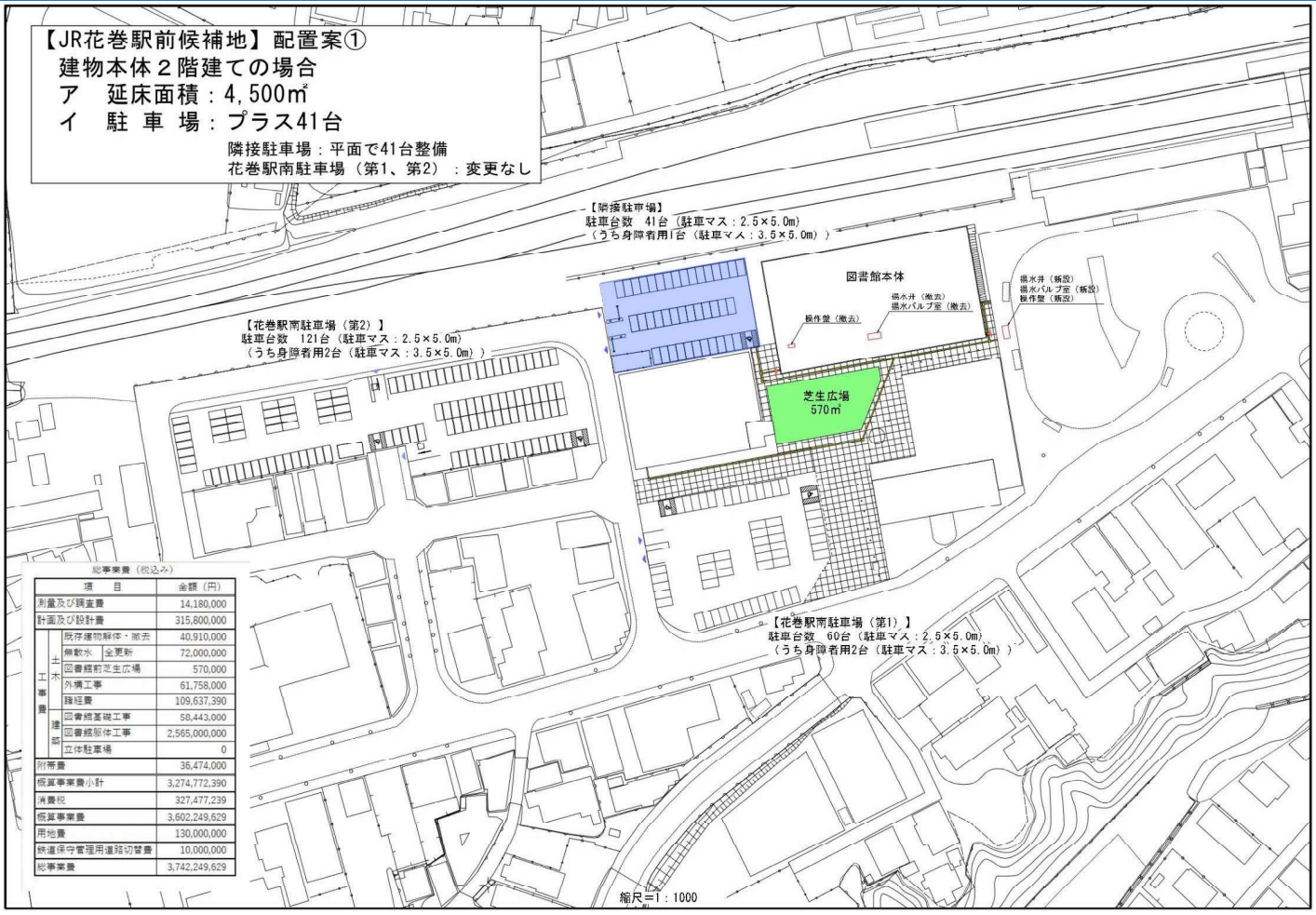
参考資料

その他（概要版※1 ｐ10・ｐ11掲載以外の）土地利用計画図

※1　ｐ10・ｐ11は「新花巻図書館建設候補地比較調査結果について（概要版）」に付したページ番号であり、本資料編では、ｐ10→ｐ53下段、ｐ11→ｐ54上段、となります。

参考 3-4-2 土地利用計画図 ＪＲ花巻駅前候補地 配置案①

報告書 P108

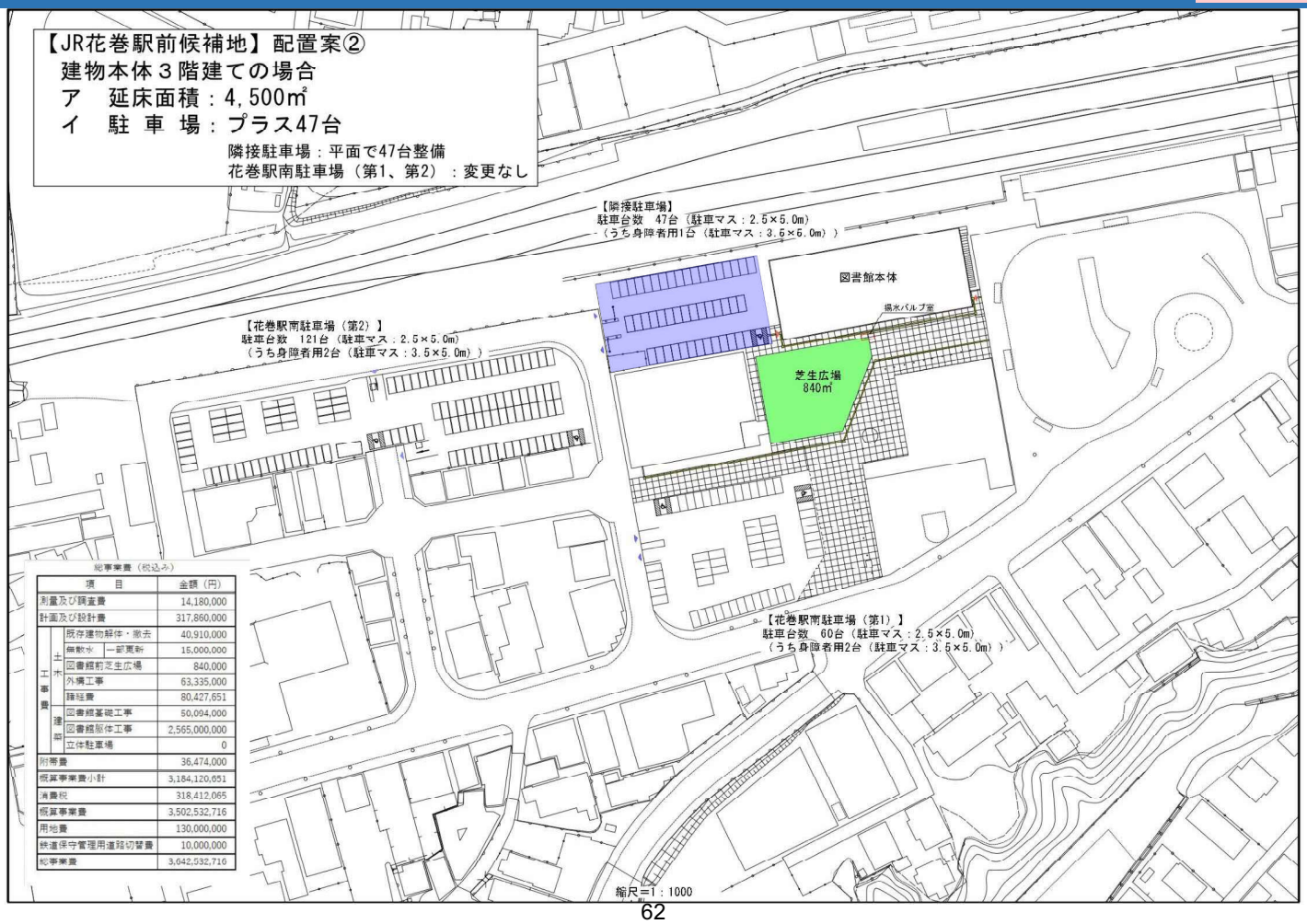


総事業費（税込み）

項目			金額（円）
測量及び調査費			14,180,000
計画及び設計費			315,800,000
工事費	土木	既存建物解体・撤去	40,910,000
		無散水 全更新	72,000,000
		図書館前芝生広場	570,000
		外構工事	61,758,000
		諸経費	109,637,390
	建部	図書館基礎工事	58,443,000
		図書館躯体工事	2,565,000,000
		立体駐車場	0
附帯費			36,474,000
概算事業費小計			3,274,772,390
消費税			327,477,239
概算事業費			3,602,249,629
用地費			130,000,000
鉄道保守管理用道路切替費			10,000,000
総事業費			3,742,249,629

参考 3-4-2 土地利用計画図 ＪＲ花巻駅前候補地 配置案②

報告書 P109

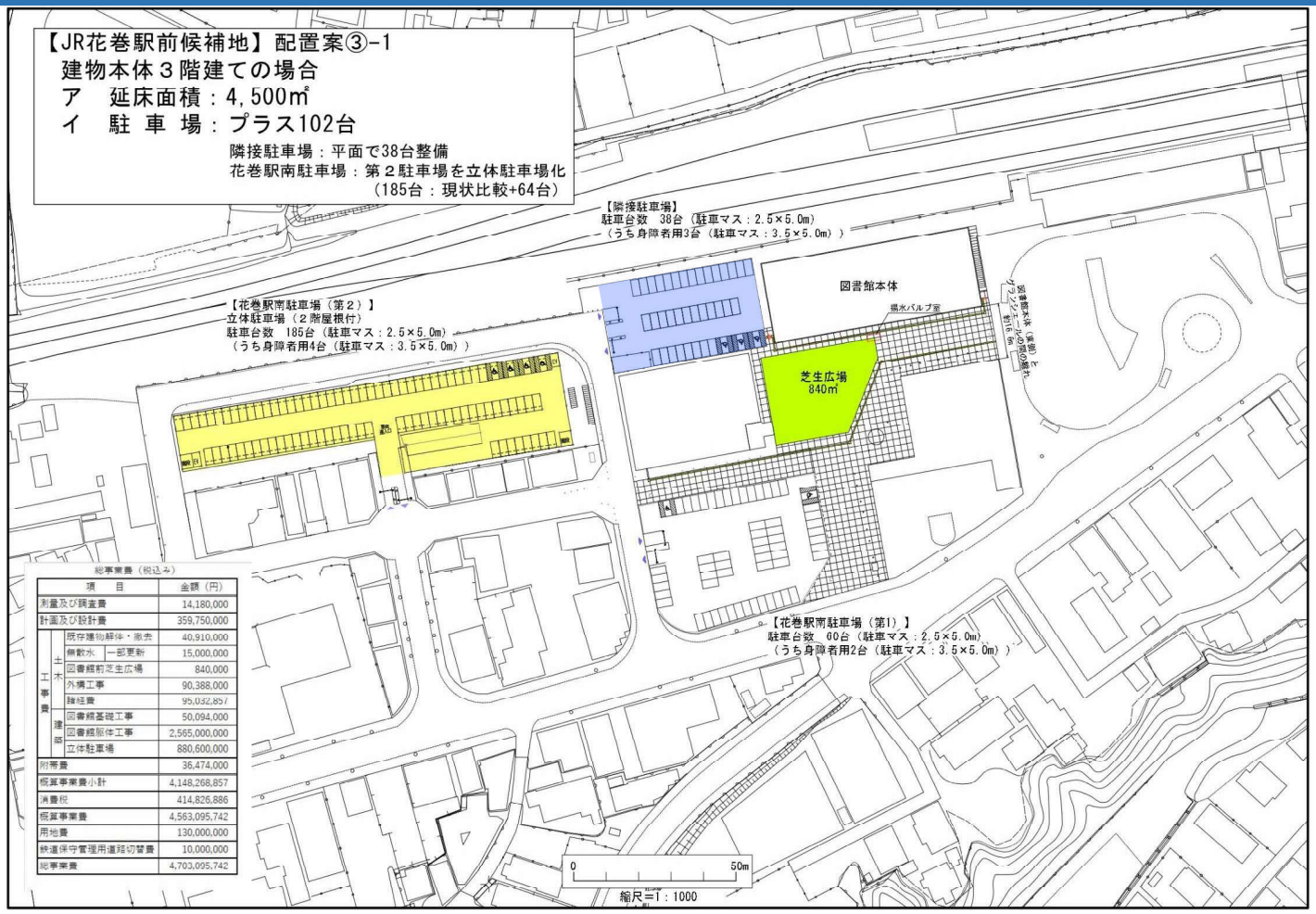


総事業費（税込み）

項目			金額（円）
測量及び調査費			14,180,000
計画及び設計費			317,860,000
工事費	土木	既存建物解体・撤去	40,910,000
		無散水 一部更新	15,000,000
		図書館前芝生広場	840,000
		外構工事	63,335,000
		諸経費	80,427,651
	建部	図書館基礎工事	50,094,000
		図書館躯体工事	2,565,000,000
		立体駐車場	0
附帯費			36,474,000
概算事業費小計			3,184,120,651
消費税			318,412,065
概算事業費			3,502,532,716
用地費			130,000,000
鉄道保守管理用道路切替費			10,000,000
総事業費			3,642,532,716

参考　3-4-2　土地利用計画図　ＪＲ花巻駅前候補地　配置案③－１

報告書 P110

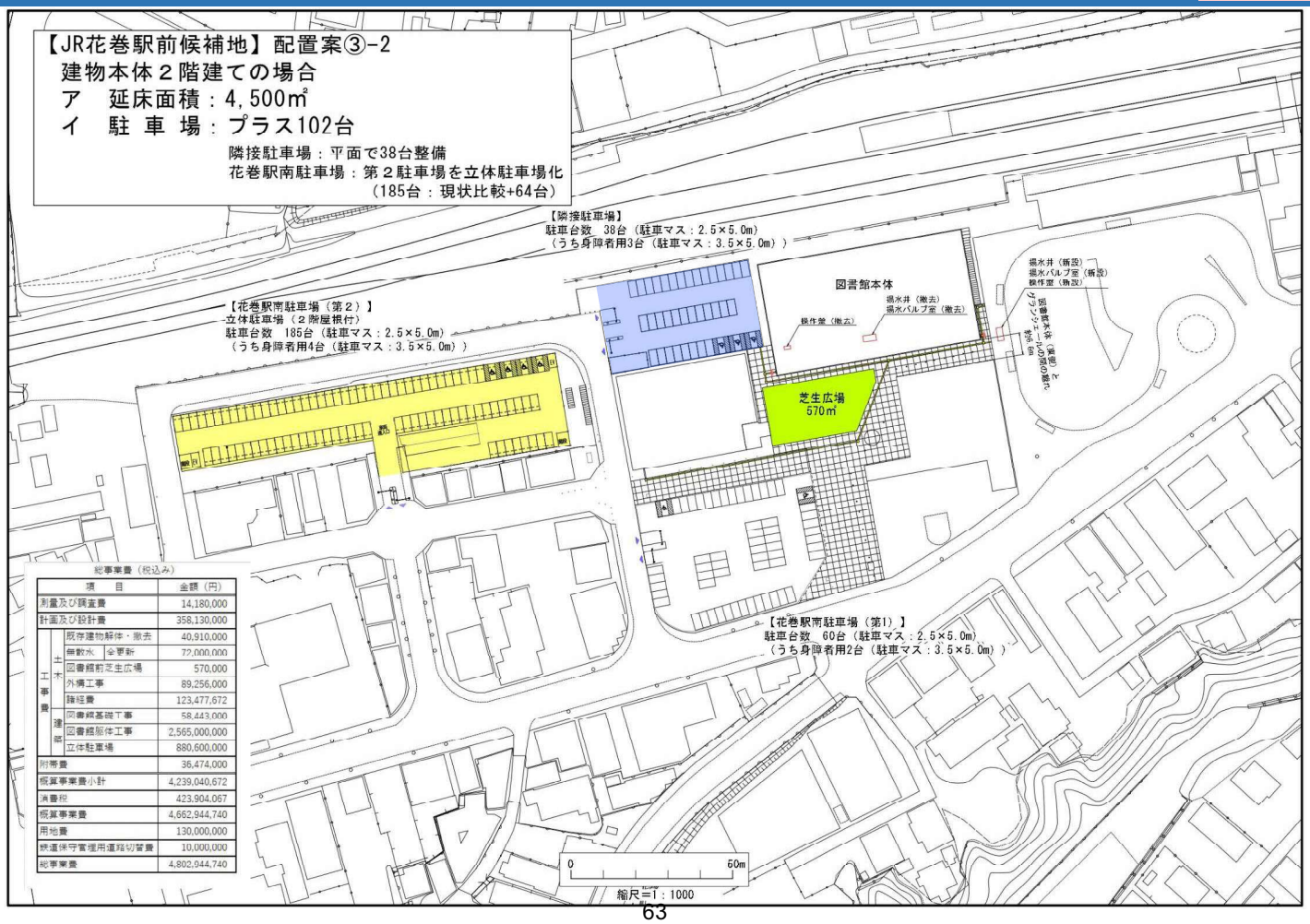


総事業費（税込み）

項　目			金額（円）
測量及び調査費			14,180,000
計画及び設計費			359,750,000
工事費	土木	既存建物解体・撤去	40,910,000
		無数水　一部更新	15,000,000
		図書館前芝生広場	840,000
		外構工事	90,388,000
		諸経費	95,032,857
	建部	図書館基礎工事	50,094,000
		図書館躯体工事	2,565,000,000
		立体駐車場	880,600,000
附帯費			36,474,000
概算事業費小計			4,148,268,857
消費税			414,826,886
概算事業費			4,563,095,742
用地費			130,000,000
鉄道保守管理用道路切替費			10,000,000
総事業費			4,703,095,742

参考　3-4-2　土地利用計画図　ＪＲ花巻駅前候補地　配置案③－２

報告書 P111

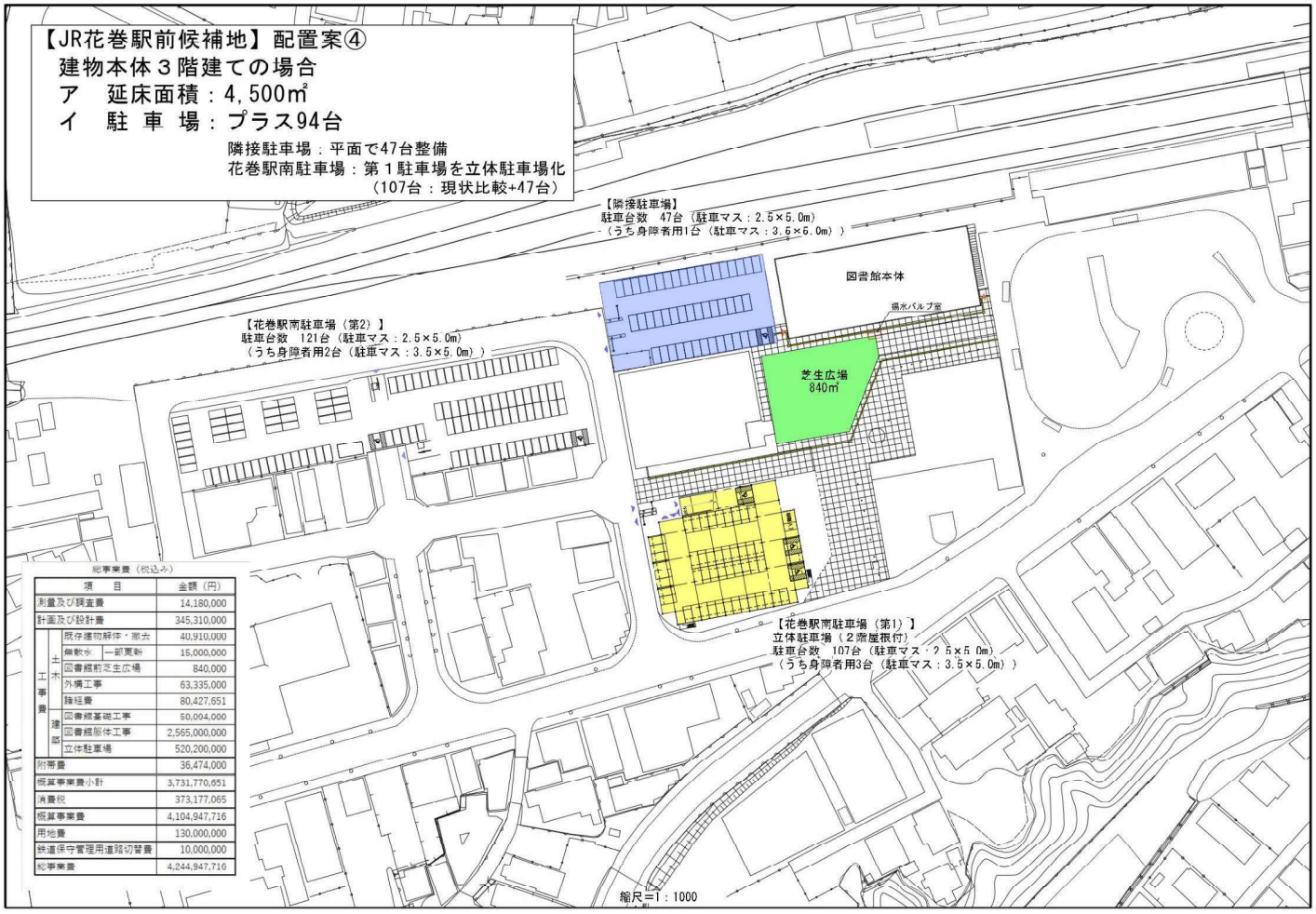


総事業費（税込み）

項　目			金額（円）
測量及び調査費			14,180,000
計画及び設計費			358,130,000
工事費	土木	既存建物解体・撤去	40,910,000
		無数水　全更新	77,000,000
		図書館前芝生広場	570,000
		外構工事	89,256,000
		諸経費	123,477,672
	建部	図書館基礎工事	58,443,000
		図書館躯体工事	2,565,000,000
		立体駐車場	880,600,000
附帯費			36,474,000
概算事業費小計			4,239,040,672
消費税			423,904,067
概算事業費			4,662,944,740
用地費			130,000,000
鉄道保守管理用道路切替費			10,000,000
総事業費			4,802,944,740

参考 3-4-2 土地利用計画図 ＪＲ花巻駅前候補地 配置案④

報告書 P112

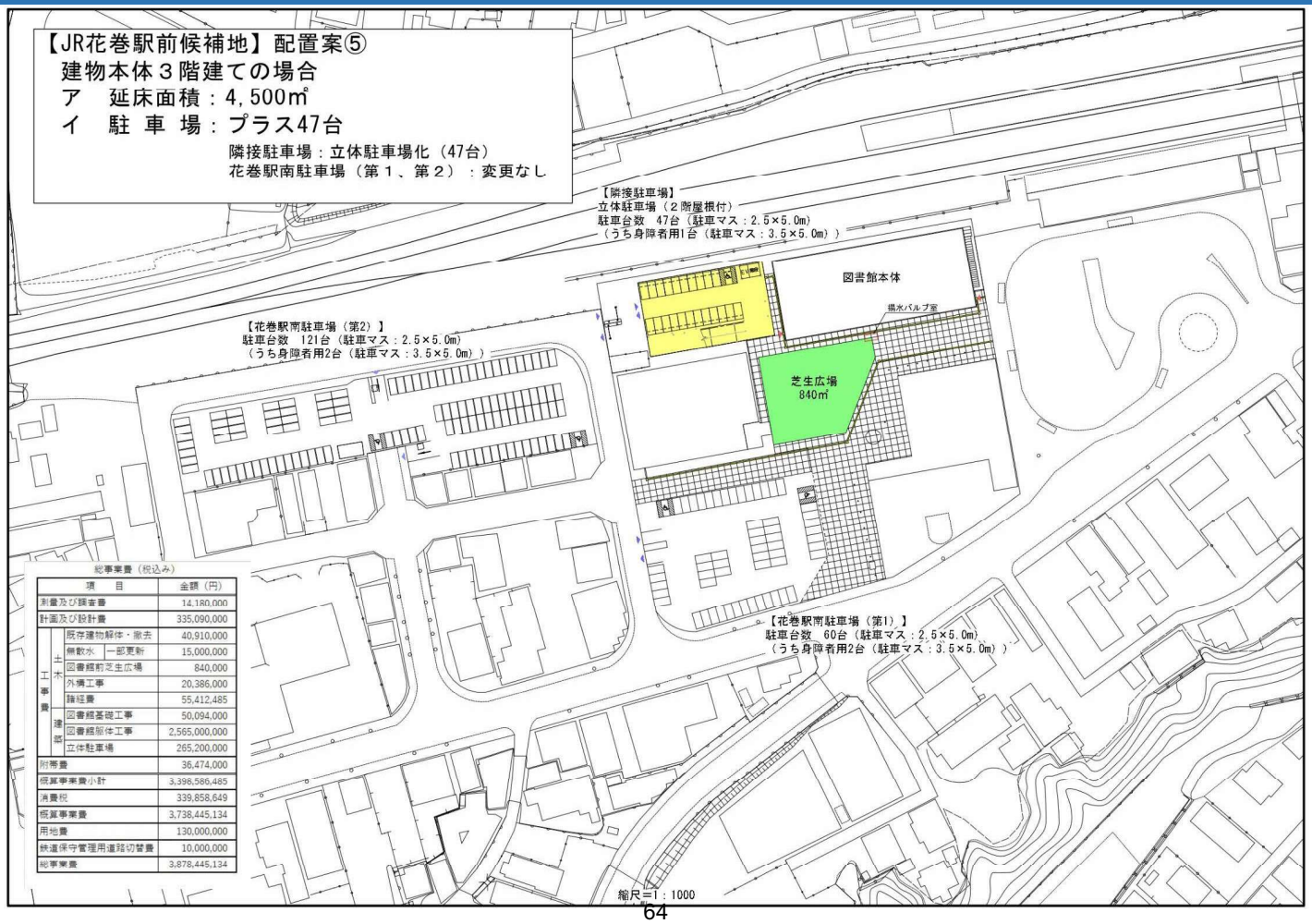


総事業費（税込み）

項目			金額（円）
測量及び調査費			14,180,000
計画及び設計費			345,310,000
工事費	土木	既存建物解体・撤去	40,910,000
		無散水 一部更新	15,000,000
		図書館前芝生広場	840,000
		外構工事	63,335,000
		諸経費	80,427,651
	建部	図書館基礎工事	50,094,000
		図書館躯体工事	2,565,000,000
		立体駐車場	520,200,000
附帯費			36,474,000
概算事業費小計			3,731,770,651
消費税			373,177,065
概算事業費			4,104,947,716
用地費			130,000,000
鉄道保守管理用道路切替費			10,000,000
総事業費			4,244,947,716

参考 3-4-2 土地利用計画図 ＪＲ花巻駅前候補地 配置案⑤

報告書 P113

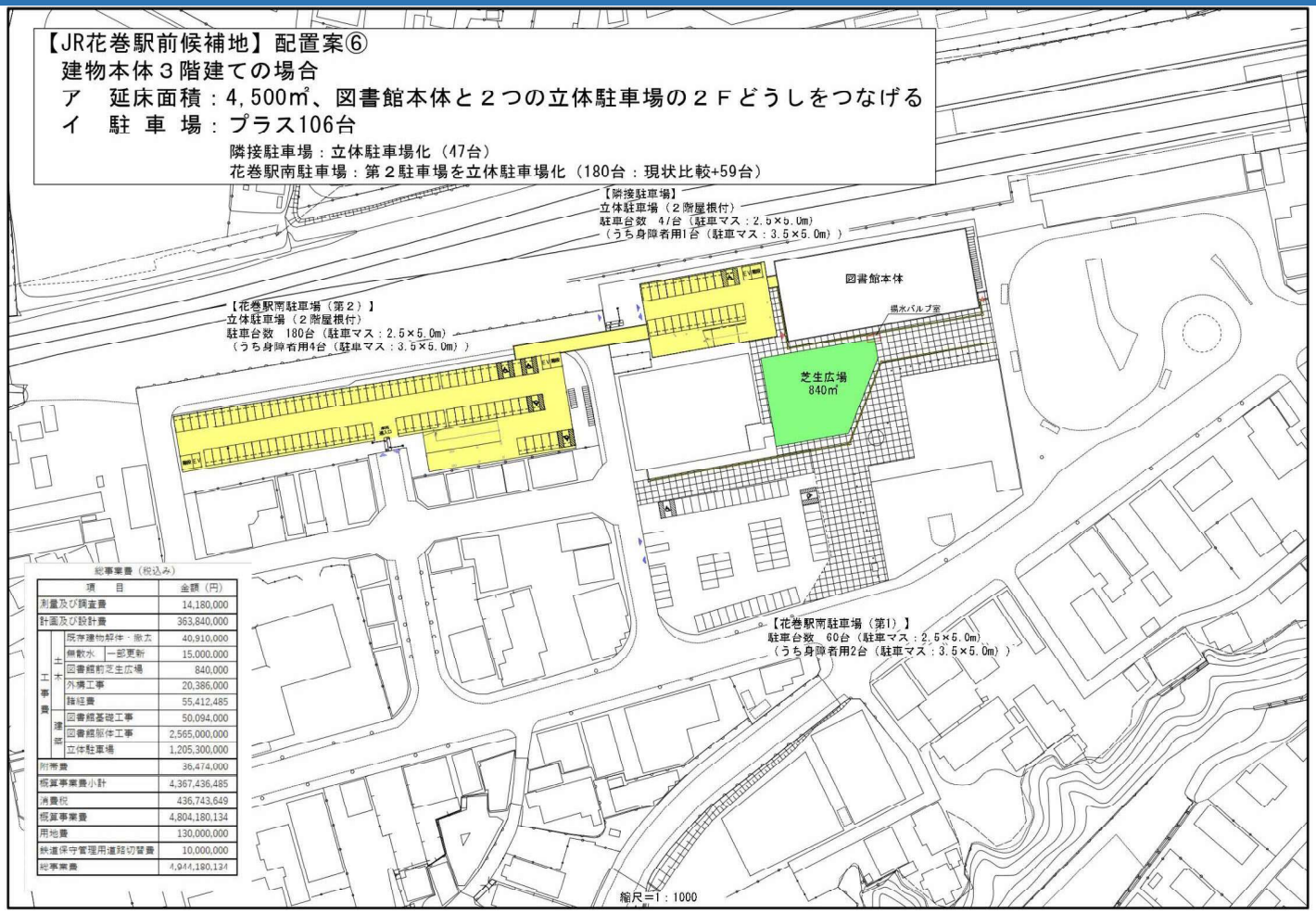


総事業費（税込み）

項目			金額（円）
測量及び調査費			14,180,000
計画及び設計費			335,090,000
工事費	土木	既存建物解体・撤去	40,910,000
		無散水 一部更新	15,000,000
		図書館前芝生広場	840,000
		外構工事	20,386,000
		諸経費	55,412,485
	建部	図書館基礎工事	50,094,000
		図書館躯体工事	2,565,000,000
		立体駐車場	265,200,000
附帯費			36,474,000
概算事業費小計			3,398,586,485
消費税			339,858,649
概算事業費			3,738,445,134
用地費			130,000,000
鉄道保守管理用道路切替費			10,000,000
総事業費			3,878,445,134

参考 3-4-2 土地利用計画図 ＪＲ花巻駅前候補地 配置案⑥

報告書 P114

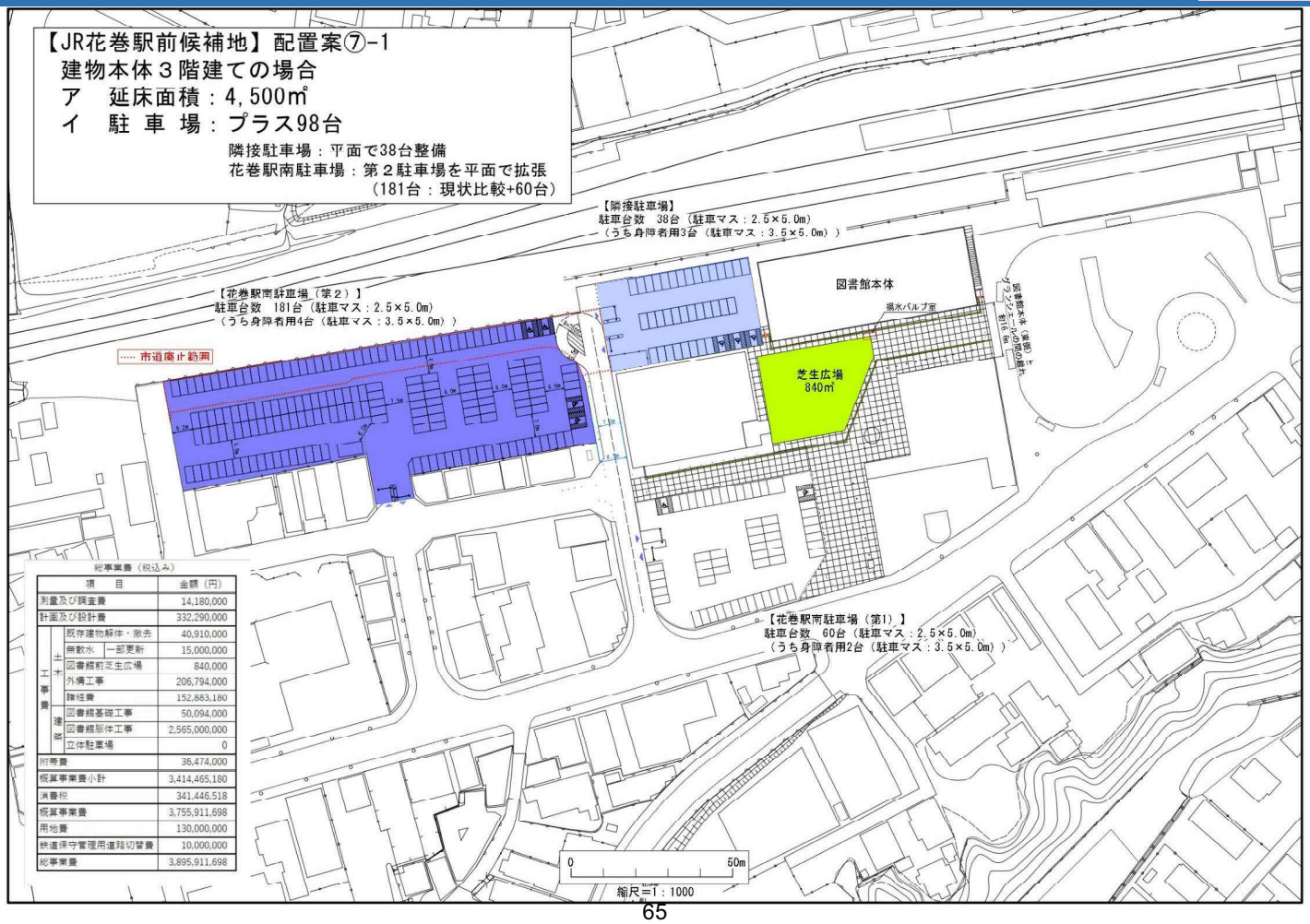


総事業費（税込み）

項目			金額（円）
測量及び調査費			14,180,000
計画及び設計費			363,840,000
工事費	土木	既存建物解体・撤去	40,910,000
		無散水 一部更新	15,000,000
		図書館前芝生広場	840,000
		外構工事	20,386,000
		諸経費	55,412,485
	建築	図書館基礎工事	50,094,000
		図書館躯体工事	2,565,000,000
		立体駐車場	1,205,300,000
附帯費			36,474,000
概算事業費小計			4,367,436,485
消費税			436,743,649
概算事業費			4,804,180,134
用地費			130,000,000
鉄道保守管理用道路切替費			10,000,000
総事業費			4,944,180,134

参考 3-4-2 土地利用計画図 ＪＲ花巻駅前候補地 配置案⑦－１

報告書 P115

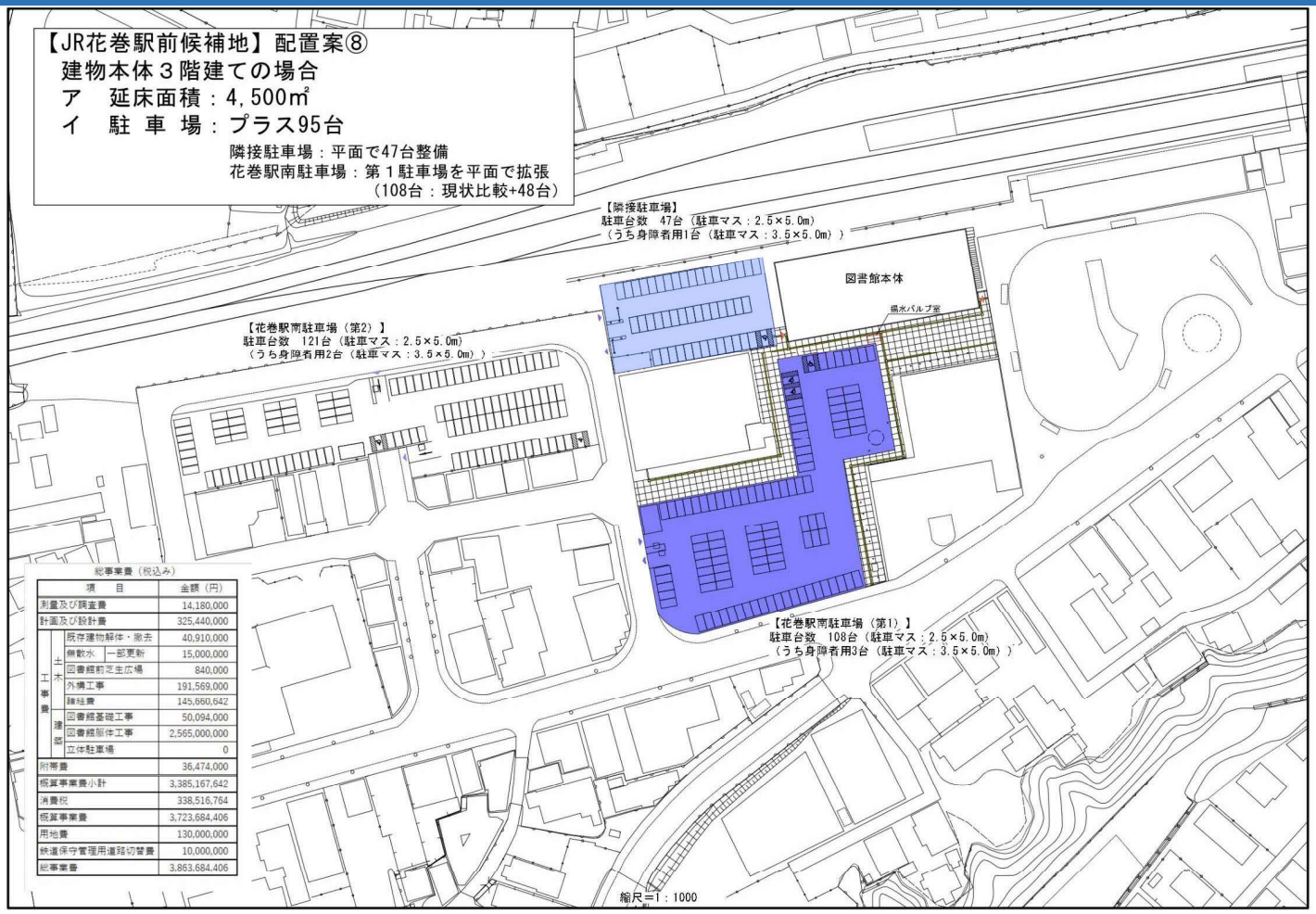


総事業費（税込み）

項目			金額（円）
測量及び調査費			14,180,000
計画及び設計費			332,290,000
工事費	土木	既存建物解体・撤去	40,910,000
		無散水 一部更新	15,000,000
		図書館前芝生広場	840,000
		外構工事	206,794,000
		諸経費	152,883,180
	建築	図書館基礎工事	50,094,000
		図書館躯体工事	2,565,000,000
		立体駐車場	0
附帯費			36,474,000
概算事業費小計			3,414,465,180
消費税			341,446,518
概算事業費			3,755,911,698
用地費			130,000,000
鉄道保守管理用道路切替費			10,000,000
総事業費			3,895,911,698

参考　3-4-2　土地利用計画図　ＪＲ花巻駅前候補地　配置案⑧

報告書 P117

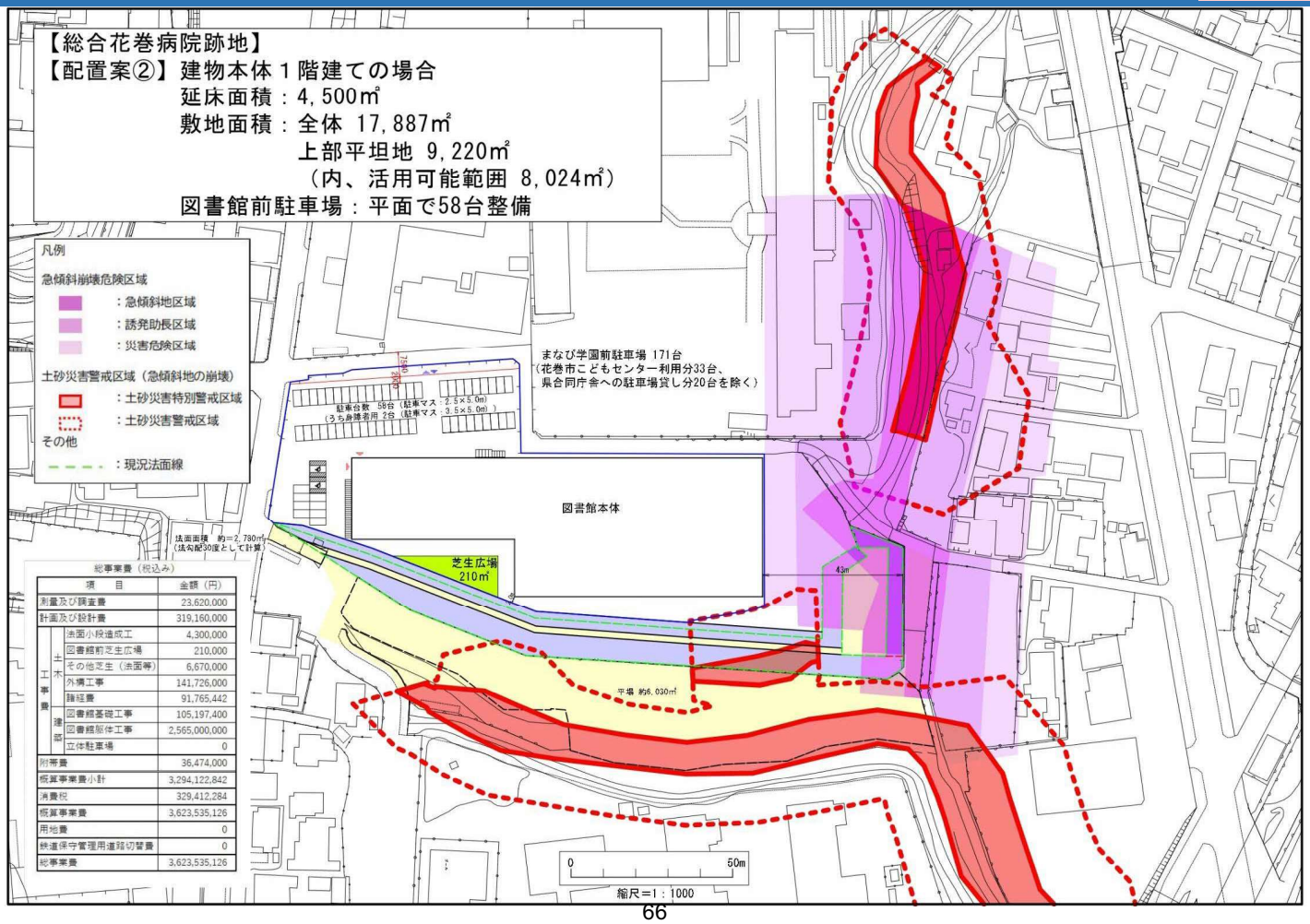


総事業費（税込み）

項　目			金額（円）
測量及び調査費			14,180,000
計画及び設計費			325,440,000
工事費	土木	既存建物解体・撤去	40,910,000
		側溝水　一部更新	15,000,000
		図書館前芝生広場	840,000
		外構工事	191,569,000
		諸経費	145,660,642
	建部	図書館基礎工事	50,094,000
		図書館躯体工事	2,565,000,000
		立体駐車場	0
附帯費			36,474,000
概算事業費小計			3,385,167,642
消費税			338,516,764
概算事業費			3,723,684,406
用地費			130,000,000
鉄道保守管理用道路切替費			10,000,000
総事業費			3,863,684,406

参考　3-4-2　土地利用計画図　総合花巻病院跡地②

報告書 P119



総事業費（税込み）

項　目			金額（円）
測量及び調査費			23,620,000
計画及び設計費			319,160,000
工事費	土木	法面小段造成工	4,300,000
		図書館前芝生広場	210,000
		その他芝生（法面等）	6,670,000
		外構工事	141,726,000
		諸経費	91,765,442
	建部	図書館基礎工事	105,197,400
		図書館躯体工事	2,565,000,000
		立体駐車場	0
附帯費			36,474,000
概算事業費小計			3,294,122,842
消費税			329,412,284
概算事業費			3,623,535,126
用地費			0
鉄道保守管理用道路切替費			0
総事業費			3,623,535,126

新花巻図書館建設候補地比較調査結果について（概要版）

生涯学習部新花巻図書館計画室

☎ 0198-41-3615（直通）
✉ new-library-pj@city.hanamaki.iwate.jp

令和6年11月8日印刷

7 新花巻図書館の建設候補地について

令和７年３月に議員説明会で公表。市民会議の結果に基づく建設候補地の選定に関する資料

新花巻図書館の建設候補地について

生涯学習部新花巻図書館計画室

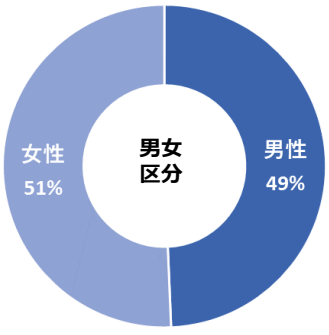
1.会議の概要

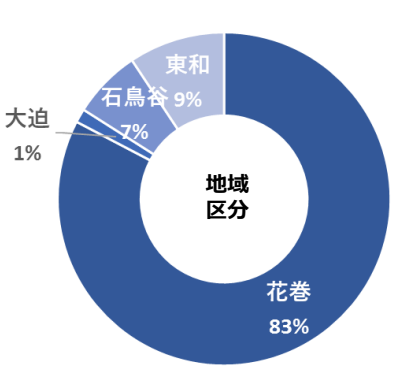
⑴会議の目的

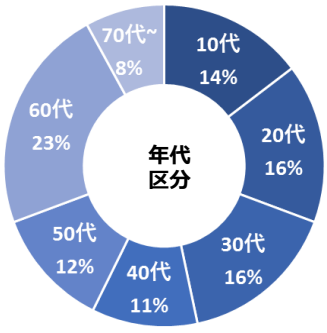
市民会議は、新花巻図書館の建設候補地に関して、比較調査の結果等を見ながら、市民の皆さんが考え感じていることを対話を通じて共有し、それらの意見を可視化・整理することで、市が新花巻図書館の建設候補地を選定するための判断材料とすることを目的として実施

⑵会議の参加者

- 令和6年3月末現在の住民基本台帳より15歳以上の3,500人を無作為で抽出し案内を送付
- 結果として、10代から80代の75名の方から参加申込
  10代（11名）20代（12名）30代（12名）40代（8名）50代（9名）60代（17名）70代以上（6名）







- 第1回　65名、第2回　64名、第3回　57名、第4回　53名
- 4回すべてに参加された方が42名、3回参加された方が19名、2回参加された方が6名、1回のみ参加された方が2名、参加希望をされたが都合により参加できなかった方が6名

1.会議の概要

⑶会議の内容

- 慶應義塾大学大学院特任教授の山口覚氏をメインファシリテーター（話の促進役）に迎え、世代別に参加者を11グループに分け、対話による意見交換を実施
- 各グループのテーブルファシリテーター（グループ内の進行役）は、山口教授の研修を受けた生涯学習部以外の市職員が担当
- それぞれの会議の冒頭で、山口教授から、対話を円滑に進めるための「対話の心得」を説明

「対話の心得」

「『私たち』と思う」こと、「話に耳を澄ませて聴く」こと、「否定も断定もしない」こと、「答えは一つと思わない」こと、「一人１回２分以内」、「アイディアをつなげる」こと、「心の変容を許す」こと

第1回

令和6年11月17日（日）
13時～17時

- 市民会議の趣旨説明
- 参加者が自分にとっての図書館についてグループで対話
- 建設候補地の比較調査結果について説明
- 令和2年から令和6年までいただいた要望や意見交換・ワークショップ・署名などを共有
- 候補地ごとにメリットやデメリットについて、グループで対話

第2回

令和6年12月21日（土）
13時～17時

- 会議開始前に、希望者（9名）により、建設候補地周辺を徒歩で確認
- 補足資料の説明
- 署名・要望等の資料の説明
- 前回の話し合いで出された候補地ごとのメリットやデメリットとそれらの分類をAIを使って整理したものについて、不足がないか確認

第3回

令和7年1月26日（日）
13時～17時

- 2回目の会議の際、求められた補足資料の説明
- 前回までに挙げられたデメリットに対する解決策を検討
- これまでの対話を経て、現時点で自分がどう思うか話し合い

第4回

令和7年2月15日（土）
13時～17時

- これまでのメリット・デメリット、デメリットの解決策を整理したものを確認(別途：意見整理表)
- これまでの対話に基づき、自分がどう思うかなどをグループを横断して話し合い
- 参加者個人の考えをヒアリングシートに記入

2.ヒアリングシート

⑴シートの書き方

- 第4回会議において、参加者個々の考えをヒアリングシートで確認
- 市民会議で話し合ったそれぞれの候補地のメリット・デメリット及びデメリットの解決策を「都市計画的視点」「建築計画的視点」2つの視点を踏まえ、１０の分類（「活性化」「文化・歴史」「他施設との連携」「周辺環境」「アクセス」「安全」「防災」「土地」「駐車場」「費用」）ごとに考察
- 10の分類は、話し合いの中で出されたメリット・デメリットとそれらの分類をAIを使い、項目立てし、その中に落とし込んだもの

【確認1】

10の「視点・分類」ごとに考えた場合、どちらの場所の方が良いと思いますか。理由もお書きください

▶ 自分の考えに近いものを選択（「明らかに病院が良いと思う。」「どちらかといえば病院が良いと思う。」「どちらでもよい。」「どちらかといえば駅前が良いと思う。」「明らかに駅前が良いと思う。」）その理由も記載

【確認2】

10の「視点・分類」のうち、重要と思うものについて、1位から5位まで順番をつけて書いてください。理由もお書きください

▶ 分類10項目の中で特に重要と思うもの5項目を選び、優先順位と選択理由を記載

【確認3】

どちらの建設候補地になったとしても大切にしなければならないことはなんですか

▶ 自由記述

【確認4】

今回の市民会議の位置付け・やり方についてどう思われましたか

▶ 自由記述

【確認5】

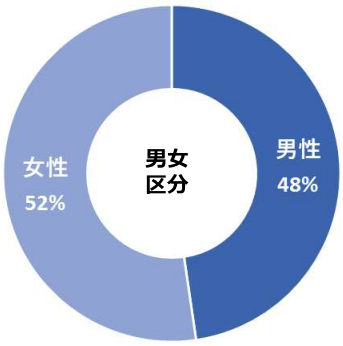
その他、図書館の建設候補地の選定のプロセスに携わったご感想など、ご自由に記入してください

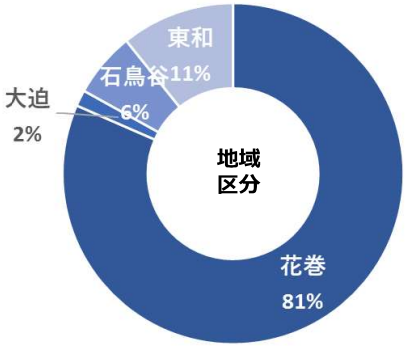
▶ 自由記述

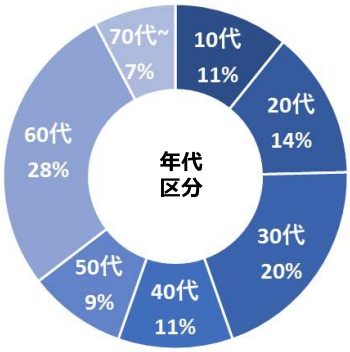
2.ヒアリングシート

⑵シートの集計

- 2月15日の第4回市民会議参加者　51名
- 2月15日の第4回市民会議に参加できなかった方で市民会議に2回以上に参加した方に郵送でのヒアリングシート提出を依頼　16名（第4回会議で途中退席された方、2名を含む）
- 返信のあった方は14名







2.ヒアリングシート

⑶集計結果

【確認1】10の「視点・分類」ごとに考えた場合、どちらの場所の方が良いと思いますか。理由もお書きください。

視点・分類		1.明らかに病院側が良いと思う	2.どちらかといえば病院側が良いと思う	3.どちらでもよい	4.どちらかといえば駅前が良いと思う	5.明らかに駅前が良いと思う
都市計画的視点	①活性化	4人	6人	12人	16人	27人
	②文化・歴史	11人	16人	30人	5人	3人
	③他施設との連携	7人	14人	26人	13人	5人
	④周辺環境	8人	11人	15人	21人	10人
	⑤アクセス	3人	1人	9人	10人	42人
建築計画的視点	⑥安全	3人	3人	15人	25人	19人
	⑦防災	2人	5人	28人	19人	11人
	⑧土地	15人	16人	10人	11人	13人
	⑨駐車場	19人	24人	14人	4人	4人
	⑩費用	14人	7人	27人	12人	4人

※⑩費用について無回答の人が1人

2.ヒアリングシート

⑶集計結果

【確認2】10の「視点・分類」のうち、重要と思うものについて、1位から5位まで順番をつけて書いてください。理由もお書きください。

視点・分類	1位	2位	3位	4位	5位
①活性化	18	6	10	9	8
②文化・歴史	2	5	3	4	3
③他施設との連携			3	10	6
④周辺環境	6	5	9	8	12
⑤アクセス	19	27	4	3	3
⑥安全	7	11	10	9	5
⑦防災			4	4	5
⑧土地	2	3	5	5	4
⑨駐車場	3	4	12	6	9
⑩費用	7	2	3	4	7

※１位のみ回答した人が１人。１位から３位を回答した人が１人、無回答の人が１人

3.ヒアリングシートの分析

⑴確認２の分析

選択理由をAIにより要約（参加者がその分類を重要と考えた理由）

①活性化
- 行きやすい中心地、図書館の調和で地域が盛り上がる
- 地域全体が魅力的な区域になることを期待
- 市民の便利さを増し、良かったと思うきっかけに

②文化歴史
- 宮沢賢治の生誕地であることを活かすこと
- 文化歴史の継承とアピール
- 花巻市の独自の価値を全国にアピール

③他施設との連携
- 図書館単独ではなく、他施設との連携による強化
- 休日に様々なことができる便利さ
- 他施設との連携で費用効率を考慮

④周辺環境
- 知識を得るための静かで集中しやすい環境
- 全世代が利用しやすい広い敷地
- 融雪設備などの利便性

⑤アクセス
- 利便性のある位置、アクセスしやすい場所
- 交通手段の充実、すべての交通手段で行きやすい
- 多世代の利用、若者から高齢者までが利用しやすい環境

⑥安全
- 災害時を含めて、安全な場所に建設することの重要性
- 防犯対策、誰でも安心して利用できる場所
- 利用者の安心感、子どもだけで利用する際の不安

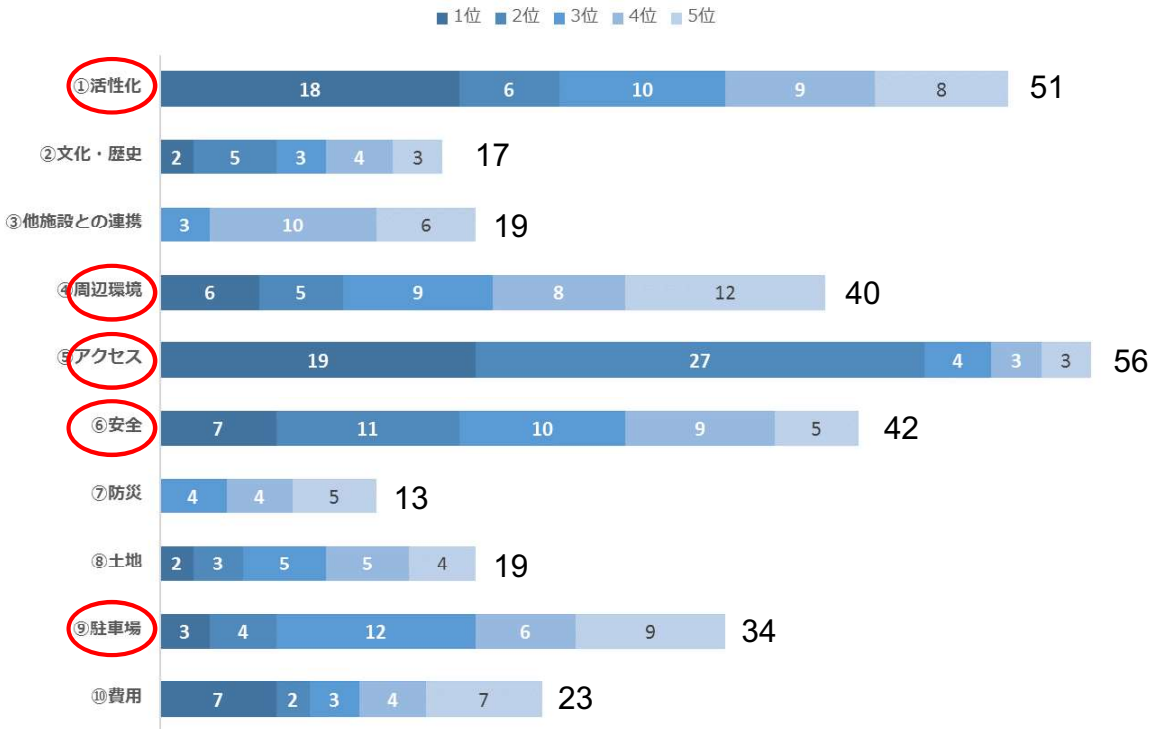
⑦防災
- 災害時の安全性の確保、避難所として利用の可能性
- 防火対策、火災対策の重要性
- 災害時に迅速な対応が可能か

⑧土地
- 安定した地盤、安定した土地
- 敷地の広さ
- 安全な土地、長期的に不安のない場所

⑨駐車場
- 車を利用する市民のために駐車場の確保
- 駐車場の広さと利用料
- イベントにも利用可能な駐車場

⑩費用
- 市民負担を最小限にするための費用計画
- 周辺のハード整備費用も含めて考慮

3.ヒアリングシートの分析



確認２で、それぞれの重要と思う「視点・分類」について、1位から5位までの人数を積み上げ確認したところ、重要視された「視点・分類」の上位５つは、⑤アクセス56人、①活性化51人、⑥安全42人、④周辺環境40人、⑨駐車場34人となっており、以下、⑩費用23人、③他施設との連携19人、⑧土地19人、②文化・歴史17人、⑦防災13人の順となっている。

3.ヒアリングシートの分析

⑵確認２を踏まえた確認１の分析

視点・分類		1.明らかに病院側が良いと思う	2.どちらかといえば病院側が良いと思う	3.どちらでもよい	4.どちらかといえば駅前が良いと思う	5.明らかに駅前が良いと思う
都市計画的視点	①活性化	4人	6人	12人	16人	27人
	②文化・歴史	11人	16人	30人	5人	3人
	③他施設との連携	7人	14人	26人	13人	5人
	④周辺環境	8人	11人	15人	21人	10人
	⑤アクセス	3人	1人	9人	10人	42人
建築計画的視点	⑥安全	3人	3人	15人	25人	19人
	⑦防災	2人	5人	28人	19人	11人
	⑧土地	15人	16人	10人	11人	13人
	⑨駐車場	19人	24人	14人	4人	4人
	⑩費用	14人	7人	27人	12人	4人

※⑩費用について無回答の人が1人

3.ヒアリングシートの分析

確認２で重要視された上位5つの「視点・分類」を踏まえると、⑤アクセスは「明らかに駅前」42人、①活性化は「明らかに駅前」27人、⑥安全は「どちらかといえば駅前」25人、④周辺環境は「どちらかといえば駅前」21人、⑨駐車場は「どちらかといえば病院」24人となっている。
それ以下は、⑩費用は「どちらでもよい」27人、③他施設との連携は「どちらでもよい」26人、⑧土地は「どちらかといえば病院」16人、②文化・歴史は「どちらでもよい」30人、⑦防災は「どちらでもよい」28人となっている。

それぞれの分類の選択理由をAIにより要約

⑤アクセス：「明らかに駅前」
- 駅前はバスや電車などの公共交通機関が整っており、行きやすい
- 病院跡地は専用のバス停がないとアクセスが困難
- 高齢者や学生にも利用しやすい場所が駅前である

①活性化：「明らかに駅前」
- 駅前が既存の商業地域であり、活性化の基盤がある
- 新しい図書館ができることで駅前が活性化し、花巻の印象が良くなる
- 観光客や花巻市民が利用しやすく、町の発展につながる
- 図書館が駅前にあると観光客にとって利便性が高い

⑥安全：「どちらかといえば駅前」
- 駅前は交番が近く、明るく夜間も安心
- 人通りが多い駅前の方が安全である

④周辺環境：「どちらかといえば駅前」
- 駅前はJRやバスの待ち時間を有効活用できるうえ、整備が整っており、近くに交番があり安心感もある
- 人通りが多く、夜でも明るくて安心できるため、賑やかな場所であることが魅力的である
- 設計次第で電車の振動や騒音はカバーできる

⑨駐車場：「どちらかといえば病院」
- 病院跡地は広く駐車場の確保が容易
- 駅前は駐車スペースが狭いため混雑する可能性がある

⑩費用：「どちらでもよい」
- どちらの場所も費用には大差がない
- 建設費よりも運用維持の経費が重要
- 費用に見合う施設を作ってほしい

③他施設との連携：「どちらでもよい」
- 病院跡地はまなび学園、駅前はなはんプラザとの連携が可能
- 連携の可能性はどちらもあるが、無理に連携する必要はない
- 双方とも、他施設との連携が考えられる

⑧土地：「どちらかといえば病院」
- 病院跡地は広い土地で柔軟に利用できる
- 病院跡地は市有地であり、既に取得済み
- 駅前は広さで制約があるが、土地が整備されている

②文化・歴史：「どちらでもよい」
- どちらの場所も賢治や高村光太郎などのゆかりがあり、強みを持っている
- 図書館の場所自体に文化や歴史はそれほど重要ではない
- 図書館内で文化・歴史に触れる展示があれば良い
- 個人の興味によるが、どちらにも文化・歴史がある

⑦防災：「どちらでもよい」
- 災害時にはどちらの場所も一時的な滞在場所として利用可能
- どちらの場所も防災対応が可能であり、それほど差がない

3.ヒアリングシートの分析

⑶確認３の「どちらの建設候補地になったとしても大切にしなければならないことはなんですか。」に対する意見

自由記載内容をAIにより分類・要約

①全世代に利用しやすい図書館
- 子供から高齢者、障害者まで老若男女全ての人が利用しやすく、楽しめる図書館にしてほしい
- 多様な年齢層から愛される図書館を目指してほしい

②利便性とアクセスの向上
- アクセスのよさと交通の便を重視すべき
- 利用しやすい立地を選び、利用者が快適に図書館を使える環境を整えることが重要

③快適な施設設備
- 外装・内装・雰囲気を楽しくし、行きたくなる図書館を作る
- 機能性、デザイン、自然との調和などを考慮し、実力のある建築家に依頼してほしい

④図書館の中身と運営
- 本の種類や資料の充実、イベントの開催など図書館機能の拡充を求む
- 利用者目線での施設作りと運営が大切

⑤安全性の確保
- 図書館周辺の安全性を確保し、防災・安心な環境を作る
- 病院跡地や駅前どちらの立地でも必要な安全対策を講じることが重要

⑥市民の声と説明の場
- 市民へ詳しく説明してほしい
- 市民の多くの意見を尊重し、納得のいく図書館作りをすることが大切

⑦将来を見据えた図書館設計
- 短期的視点ではなく、30年から50年先まで見据えた設計を望む
- 将来の利用者を想像し、幅広い世代が利用できる図書館に

⑨バリアフリー対応
- バリアフリーを徹底し、全ての人が使いやすい施設にする
- 特に高齢者や障害者が安心して利用できるように配慮することが大切

⑩ コストと効率
- 建設と維持管理のコストを最小限に抑えながらも、質の高い図書館を求める
- 費用対効果を考え、市民に還元される図書館作りをする

⑪その他
- 維持運営の努力と市民文化創造の側面を重視し、長期に渡って愛される図書館にしてほしい
- 質の高いスタッフを配置し、利用者が快適に使えるようにする

3.ヒアリングシートの分析

⑷確認４の「今回の市民会議の位置付け・やり方についてどう思われましたか。」に対する回答

自由記載内容をAIにより分類・要約

①市民会議の意義と効果
- 様々な意見を聞くことで視野が広がり、良い体験だった
- 市民会議は貴重な場であり、市民の声が反映されるのは素晴らしい
- 市民の意見を集約し、市の決定の判断材料にすることに好感が持てた

②進行方法の評価
- ファシリテーターの進行が素晴らしく、話しやすい雰囲気があった
- 山口先生の進行方法が非常に良かった
- 進行係が適切な役割を果たし、進行がスムーズになった

③参加者のバラエティ
- 様々な年代や背景の参加者がいることで、多様な視点を得られた
- 世代ごとにグループ分けされたことで話しやすい雰囲気があり、意見が出しやすかった
- 普段関わることのない世代の意見を聞ける貴重な機会だった

④意見の自由
- 自由に発言できる場があり、否定せずに意見を言いやすかった
- 発言時間の制限が適切で、みんなの意見を広く聞くことができた
- メリット・デメリットを出し合うやり方が良かった

⑤時間についての意見
- 4時間は長く、2～3時間に短縮してほしい
- 時間が長く感じたが、考えていけば時間が足りなく感じた

⑥資料についての意見
- 資料の事前配布は良かったが、当日の読み合わせに1時間使うのはもったいない
- 郵送で届く資料はありがたいが、コストがかかると感じた

⑦会議の成果と実行
- 結論を出すことを目的にしていないので参加しやすかった
- 市民の声が今後の建設予定に反映されることを望む
- 複数回の会議を通じて意見交換が深まり、有意義だった

⑧市職員と進行方法の評価
- 市職員やファシリテーターの努力が感じられた
- 市役所の職員のみなさんに感謝の意を示したい

⑨その他
- ディベートのようなガツガツしたやり方ではないのが良かった
- 他のグループを確認することで理解が深まった

3.ヒアリングシートの分析

⑸確認５の「その他、図書館の建設候補地の選定のプロセスに携わったご感想など、ご自由に記入してください」に対する回答

自由記載内容をAIにより分類・要約

①対話の重要性と参加の感謝
- 自分の考えを伝えることができて良かった。花巻市民として実感を得た
- ファシリテーターや他の参加者の存在がありがたかった
- 市民会議への参加機会に感謝。貴重な経験ができた

②多様な意見を通じた学び
- 年齢や立場の異なる人たちと意見を交わすことができた
- 新たな視点や考え方を知れたことが自己成長につながったと思う
- 多様な意見を聞くことで、新しい知識や見解を得られた

③市民が市政に関わる意義
- 市民として市の行事に関われる機会が貴重だと感じた
- 市の大事なことに関われたことへの喜びを感じた
- 市民の意見を直接聞ける場として重要だと感じた

④自分の意見を言える場の重要性
- 市民が意見を述べることの重要性を実感した
- シンプルに意見を述べる場があるのは嬉しいと思う
- 他の市民と意見を交換する場所があることは大事だと思う

⑤会議の運営と進行について
- ファシリテーターの存在が大きかった
- ワークショップの進行が良かった
- 丁寧な説明のおかげでスムーズに進行できた

⑥候補地や建設に関する具体的な意見
- 駅前や病院跡地、個々のメリット・デメリットについて議論できた
- 建設候補地について、多角的に討論できた

⑦市政・市民会議への希望と期待
- 今後もこのような市民参加の機会を増やしてほしい
- 市政や市民会議が今後も続くことへの期待
- 市の行事や決定に市民が関わる重要性についての希望

⑧図書館建設の完成に対する期待
- 図書館が完成することを楽しみにしている
- 良い図書館になることを期待している
- 質の高い図書館が早く完成してほしい

⑨会議参加を通じて得たスキルや知識
- 会議の進行方法や対話の手法を学んだ
- 他人の意見を尊重することの重要性を学んだ
- 貴重な資料や情報を通じた学びが多かった

⑩市民と市の関係性
- 市民の声が反映される場として大事な役割を果たした
- 市役所や担当者への感謝の気持ちを述べる意見
- 運営における丁寧な対応に感謝

4.デメリットとデメリットの解決策

市民会議で話し合ったデメリットとその解決策をAIにより要約

花巻駅前

① 駅から近いため、電車の騒音や振動問題がある
（解決策） 防音及び振動対策を設計段階で対応、静かに読書できる部屋を設置する

②建物が密集し、緑が少なく景観が悪い
（解決策）植栽・植樹をする、天井を高くし開放感を出す、屋上を公園化する

③イベント時に混雑し、観光客などのマナー違反が懸念される
（解決策）混雑時の通行規制や警備員の配置、イベント時の利用制限

④駐車場の入口の道路が狭い
（解決策）駐車場入口の道路を使いやすく工夫する

⑤図書館駐車場や駅のバス・タクシー乗り場で安全に関する懸念がある
（解決策） 防犯カメラの設置や警備員配置、歩行者安全対策を実施

⑥総合花巻病院跡地と比べ用地が狭い
（解決策）3階建てにするなど建て方を工夫する、芝生広場を屋上に整備する

⑦平面駐車場はイベント時に図書館利用者が駐車できない可能性がある
（解決策） 駐車場の利用ルールを工夫し、デジタル技術を活用する、新しい駐車場の設置を検討する

⑧図書館利用者以外の違法駐車や無断駐車が増える可能性がある
（解決策）駐車券を新システムで発券、図書館利用者とその他利用者のスペースを区別する

⑨概算事業費が高く、市の実質負担額が多い
（解決策）負担分の効果が得られる事業を検討、追加費用がかかる場合は詳細調査を行う

総合花巻病院跡地

①周辺に歩行者が少なく、人の流れができにくい
（解決策）イベントや企画の実施(例: 古本まつりや散策マップの作成)、おしゃれなデザインや快適な館内、花の植栽など魅力的な図書館の設置

②隣接するまなび学園でイベントがある際に駐車スペースが減る可能性がある
（解決策） イベント開催時には駐車場を区分け等で制限する、駐車料金の徴収、駐車場入口と出口を一方通行とする

③周辺に熊が出没、カラスが多く集まり糞害が発生
（解決策）熊対策(例: 情報網の強化、爆竹・ロケット花火・鈴の活用、獣害用フェンスの設置)、カラス対策(例: 赤外線やライト、音による対策)

④周辺が急傾斜崩壊危険区域や土砂災害警戒区域等に隣接しているため不安がある
（解決策）法面に照明を設置、安全性を周知する、フェンス等で危険区域に近づけない対策

⑤夜間が暗く、人通りが少ない印象
（解決策）照明や街灯の増設、防犯設備の設置（例: 警察へのパトロール依頼、警備員やカメラによる監視）

⑥駅から徒歩11分程度で距離があり、交通の便が悪い
（解決策）バス路線の追加、駅からのシャトルバスの運行、自転車レーンの設置、レンタルサイクルの増加

⑦周辺に坂道が多く、冬期間は通行に不安がある
（解決策）融雪剤散布やロードヒーターの設置、雪を利用したイベント開催

⑧周辺に飲食店が少ない
（解決策）カフェやコンビニなどの飲食スペースの確保、飲食店経営者の募集

5.市民会議の結果を踏まえ

⑴新花巻図書館の建設候補地について

市民会議では、参加者が市民の目線で２か所の図書館建設候補地について、メリットやデメリット、デメリットの解決策について話し合い、どちらの候補地が望ましいか自由に意見を述べるなど対話を繰り返す中で、それぞれ個人の意見をまとめ、ヒアリングシートに記載しました。
市はその結果を踏まえ、次のとおり、新花巻図書館の建設候補地を考えました。

- 確認２で重要視された分類の上位５つは、1. アクセス、2. 活性化、3. 安全、4. 周辺環境、5. 駐車場の順番です。重要視された分類ごとに候補地の選択で多かったものは次のとおりです。
  アクセス「明らかに駅前」42人、活性化「明らかに駅前」27人、安全「どちらかといえば駅前」25人、周辺環境「どちらかといえば駅前」21人、駐車場「どちらかといえば病院」24人
  以上から、重要視された5分類のうち4分類で駅前が評価されており、駐車場のみが病院跡地が評価されています。
  これらの分類を重視する方の自由記述をAIによりまとめると、アクセスでは「駅前はバスや電車などの公共交通機関が整っており、行きやすい」「高齢者や学生にも利用しやすい場所が駅前である」。活性化では「新しい図書館ができることで駅前が活性化し、花巻の印象が良くなる」「観光客や花巻市民が利用しやすく、町の発展につながる」とまとめられています。同様にAIでまとめた安全は「駅前は交番が近く、明るく夜間も安心」「人通りが多い駅前の方が安全である」。周辺環境は「人通りが多く、夜でも明るくて安心できるため、賑やかな場所であることが魅力的である」とされています。駐車場については、病院跡地を評価する意見が多くありました。重要視される5分類のうち4分類で駅前の方が評価されていることがわかりましたので、市は「花巻駅前」を候補地として選択したいと考えます。

- 市では、多くの市民に利用され、花巻市全体の活性化にも寄与することが期待される「花巻駅前」を新花巻図書館の建設候補地として選択し、新花巻図書館整備基本計画を策定したいと考えます。

5.市民会議の結果を踏まえ

⑵市民に親しまれる図書館を目指して

市では、花巻駅前を新花巻図書館の建設候補地として選択したいと考えますが、市民会議で出された病院跡地が良いとする意見では駐車場の使いやすさ、静かな環境などの意見もあったことから、新花巻図書館の整備にあたっては、そのような意見を含め、整備できるよう検討したいと考えます。

また今後、花巻駅前に新図書館を整備するにあたって、引き続き市民の声を聴く機会を設けるなど、市民の意見を反映させながら整備を進めたいと考えます。

検討にあたり

- 電車の騒音や振動を懸念する意見については、駅や線路に近い他の図書館の事例も踏まえながら設計段階で対応するとともに、防音し静かに読書ができる部屋を設置
- 図書館利用者以外の人たちも駐車場を使う可能性があるため、駐車場の利用ルール等を工夫
- 駐車場については、イベント等の開催時に満車となった場合には、まなび学園の駐車場等を利用してシャトルバスを運行するなどの工夫を検討
- 病院跡地に比べて敷地が狭く、イベントを開催できない等の意見については、図書館の建物を3階建てにすることも検討し、そのことによって芝生広場を病院跡地案と同程度に広げることや、屋上の芝生化も検討
- 花巻駅前でイベント等を開催する場合に、駐車場のフェンスを取り外し可能とするなど、イベントに対応できるよう検討
- 建物3階建てを検討する段階で、駅前多目的広場にある融雪設備については、一部撤去を行わず現状のまま維持することも検討
- 周辺の施設との連携についての意見もあることから、なはんプラザとの連携を検討